

目 次

- ・ (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況…………… p.1
 - ① 学生確保の見通し…………… p.1
 - ② 学生確保に向けた具体的な取組状況…………… p.9
- ・ (2) 人材需要の動向等社会の要請…………… p.9
 - ① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）…………… p.9
 - ② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠…………… p.12
- ・ 資料目次…………… p.19

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生確保の見通し

ア 定員充足の見込み

1 入学定員設定の考え方

入学定員設定の考え方は、収容定員変更を計画している6学部10学科2専攻における近年の志願状況や就職状況を踏まえるとともに、福岡県内の年齢別人口の動向、高等学校及び中学校の在籍者数、高等学校を卒業した者の大学進学状況、さらには、福岡県を中心とした九州各県および山口県内に所在する高等学校に在籍している高校生に対する進学需要調査、企業・関係団体等に対する採用意向調査の結果などを総合的に勘案したうえで、入学者選抜の機能が低下しない範囲での入学定員を設定した。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

1 最近5年間の志願者数等の状況【資料8】

1) 文学部 英文学科

英文学科の最近5年間の志願者数は、平成24年度1,106人、平成25年度1,284人、平成26年度1,255人、平成27年度1,218人、平成28年度1,423人と安定した傾向を維持しており、最近5年間の平均志願者数は1,257.2人、入学定員に対する志願者数の平均倍率(志願倍率)は12.57倍、実質的な競争倍率である合格者数に対する受験者数の平均倍率(実質倍率)は2.94倍となっている。

この最近5年間の平均志願者数から収容定員変更後の入学定員(120人)に対する志願倍率を算定すると志願倍率は10.48倍となり、また、最近5年間で最も少ない年度(平成24年度)の志願者数で算定しても9.22倍の志願倍率が見込まれることから、収容定員変更をした場合でも入学者選抜の機能が低下しない志願倍率を維持することができるが見込まれる。

なお、英文学科の最近5年間の定員充足の状況は平均で約1.15倍となっているが、今般、収容定員を変更することで定員超過率の適正化を図るとともに、今後とも適切な定員管理に努めることとする。

2) 文学部 外国語学科 英語専攻

外国語学科英語専攻の最近5年間の志願者数は、平成24年度1,284人、平成25年度1,427人、平成26年度1,319人、平成27年度1,273人、平成28年度1,305人と安定した傾向を維持しており、最近5年間の平均志願者数は1,321.6人、入学定員に対する志願者数の平均倍率(志願倍率)は13.22倍、実質的な競争倍率である合格者数に対する受験者数の平均倍率(実質倍率)は3.88倍となっている。

この最近5年間の平均志願者数から収容定員変更後の入学定員(120人)に対する志願倍率を算定すると志願倍率は11.01倍となり、また、最近5年間で最も少ない

年度（平成27年度）の志願者数で算定しても10.61倍の志願倍率が見込まれることから、収容定員変更をした場合でも入学者選抜の機能が低下しない志願倍率を維持することができると思込まれる。

なお、外国語学科英語専攻の最近5年間の定員充足の状況は平均で約1.13倍となっているが、今般、収容定員を変更することで定員超過率の適正化を図るとともに、今後とも適切な定員管理に努めることとする。

3) 文学部 外国語学科 フランス語専攻

外国語学科フランス語専攻の最近5年間の志願者数は、平成24年度462人、平成25年度695人、平成26年度571人、平成27年度636人、平成28年度589人と安定した傾向を維持しており、最近5年間の平均志願者数は590.6人、入学定員に対する志願者数の平均倍率（志願倍率）は11.81倍、実質的な競争倍率である合格者数に対する受験者数の平均倍率（実質倍率）は2.73倍となっている。

この最近5年間の平均志願者数から収容定員変更後の入学定員（60人）に対する志願倍率を算定すると志願倍率は9.84倍となり、また、最近5年間で最も少ない年度（平成24年度）の志願者数で算定しても7.7倍の志願倍率が見込まれることから、収容定員変更をした場合でも入学者選抜の機能が低下しない志願倍率を維持することができると思込まれる。

なお、外国語学科フランス語専攻の最近5年間の定員充足の状況は平均で約1.19倍となっているが、今般、収容定員を変更することで定員超過率の適正化を図るとともに、今後とも適切な定員管理に努めることとする。

4) 商学部 商学科

商学科の最近5年間の志願者数は、平成24年度2,391人、平成25年度2,425人、平成26年度2,285人、平成27年度2,313人、平成28年度2,868人と安定した傾向を維持しており、最近5年間の平均志願者数は2456.4人、入学定員に対する志願者数の平均倍率（志願倍率）は16.38倍、実質的な競争倍率である合格者数に対する受験者数の平均倍率（実質倍率）は3.71倍となっている。

この最近5年間の平均志願者数から収容定員変更後の入学定員（180人）に対する志願倍率を算定すると志願倍率は13.65倍となり、また、最近5年間で最も少ない年度（平成26年度）の志願者数で算定しても12.69倍の志願倍率が見込まれることから、収容定員変更をした場合でも入学者選抜の機能が低下しない志願倍率を維持することができると思込まれる。

なお、商学科の最近5年間の定員充足の状況は平均で約1.16倍となっているが、今般、収容定員を変更することで定員超過率の適正化を図るとともに、今後とも適切な定員管理に努めることとする。

5) 商学部 経営学科

経営学科の最近5年間の志願者数は、平成24年度2,225人、平成25年度1,

895人、平成26年度1,855人、平成27年度1,547人、平成28年度2,211人と安定した傾向を維持しており、最近5年間の平均志願者数は1,880.5人、入学定員に対する志願者数の平均倍率(志願倍率)は12.54倍、実質的な競争倍率である合格者数に対する受験者数の平均倍率(実質倍率)は3.47倍となっている。

この最近5年間の平均志願者数から収容定員変更後の入学定員(180人)に対する志願倍率を算定すると志願倍率は10.45倍となり、また、最近5年間で最も少ない年度(平成27年度)の志願者数で算定しても8.59倍の志願倍率が見込まれることから、収容定員変更をした場合でも入学者選抜の機能が低下しない志願倍率を維持することができると思込まれる。

なお、経営学科の最近5年間の定員充足の状況は平均で約1.13倍となっているが、今般、収容定員を変更することで定員超過率の適正化を図るとともに、今後とも適切な定員管理に努めることとする。

6) 経済学部 経済学科

経済学科の最近5年間の志願者数は、平成24年度2,509人、平成25年度2,632人、平成26年度2,555人、平成27年度2,330人、平成28年度2,931人と安定した傾向を維持しており、最近5年間の平均志願者数は2,506.5人、入学定員に対する志願者数の平均倍率(志願倍率)は12.53倍、実質的な競争倍率である合格者数に対する受験者数の平均倍率(実質倍率)は2.76倍となっている。

この最近5年間の平均志願者数から収容定員変更後の入学定員(240人)に対する志願倍率を算定すると志願倍率は10.44倍となり、また、最近5年間で最も少ない年度(平成27年度)の志願者数で算定しても9.71倍の志願倍率が見込まれることから、収容定員変更をした場合でも入学者選抜の機能が低下しない志願倍率を維持することができると思込まれる。

なお、経済学科の最近5年間の定員充足の状況は平均で約1.17倍となっているが、今般、収容定員を変更することで定員超過率の適正化を図るとともに、今後とも適切な定員管理に努めることとする。

7) 経済学部 国際経済学科

国際経済学科の最近5年間の志願者数は、平成24年度1,355人、平成25年度1,506人、平成26年度1,499人、平成27年度1,447人、平成28年度1,495人と安定した傾向を維持しており、最近5年間の平均志願者数は1451.75人、入学定員に対する志願者数の平均倍率(志願倍率)は14.52倍、実質的な競争倍率である合格者数に対する受験者数の平均倍率(実質倍率)は3.01倍となっている。

この最近5年間の平均志願者数から収容定員変更後の入学定員(120人)に対する

志願倍率を算定すると志願倍率は12.1倍となり、また、最近5年間で最も少ない年度（平成24年度）の志願者数で算定しても11.29倍の志願倍率が見込まれることから、収容定員変更をした場合でも入学者選抜の機能が低下しない志願倍率を維持することができると思込まれる。

なお、国際経済学科の最近5年間の定員充足の状況は平均で約1.13倍となっているが、今般、収容定員を変更することで定員超過率の適正化を図るとともに、今後とも適切な定員管理に努めることとする。

8) 法学部 法律学科

法律学科の最近5年間の志願者数は、平成24年度2,009人、平成25年度2,572人、平成26年度2,108人、平成27年度2,240人、平成28年度2,667人と安定した傾向を維持しており、最近5年間の平均志願者数は2,232.25人、入学定員に対する志願者数の平均倍率（志願倍率）は8.27倍、実質的な競争倍率である合格者数に対する受験者数の平均倍率（実質倍率）は2.41倍となっている。

この最近5年間の平均志願者数から収容定員変更後の入学定員（315人）に対する志願倍率を算定すると志願倍率は7.09倍となり、また、最近5年間で最も少ない年度（平成24年度）の志願者数で算定しても6.38倍の志願倍率が見込まれることから、収容定員変更をした場合でも入学者選抜の機能が低下しない志願倍率を維持することができると思込まれる。

なお、法律学科の最近5年間の定員充足の状況は平均で約1.17倍となっているが、今般、収容定員を変更することで定員超過率の適正化を図るとともに、今後とも適切な定員管理に努めることとする。

9) 法学部 国際関係法学科

国際関係法学科の最近5年間の志願者数は、平成24年度571人、平成25年度486人、平成26年度516人、平成27年度605人、平成28年度1,001人と安定した傾向を維持しており、最近5年間の平均志願者数は544.5人、入学定員に対する志願者数の平均倍率（志願倍率）は6.81倍、実質的な競争倍率である合格者数に対する受験者数の平均倍率（実質倍率）は2.39倍となっている。

この最近5年間の平均志願者数から収容定員変更後の入学定員（95人）に対する志願倍率を算定すると志願倍率は5.73倍となり、また、最近5年間で最も少ない年度（平成25年度）の志願者数で算定しても5.12倍の志願倍率が見込まれることから、収容定員変更をした場合でも入学者選抜の機能が低下しない志願倍率を維持することができると思込まれる。

なお、国際関係法学科の最近5年間の定員充足の状況は平均で約1.17倍となっているが、今般、収容定員を変更することで定員超過率の適正化を図るとともに、今後とも適切な定員管理に努めることとする。

10) 人間科学部 心理学科

心理学科の最近5年間の志願者数は、平成24年度1, 033人、平成25年度1, 437人、平成26年度1, 145人、平成27年度1, 172人、平成28年度1, 265人と安定した傾向を維持しており、最近5年間の平均志願者数は1196.75人、入学定員に対する志願者数の平均倍率(志願倍率)は11.97倍、実質的な競争倍率である合格者数に対する受験者数の平均倍率(実質倍率)は2.99倍となっている。

この最近5年間の平均志願者数から収容定員変更後の入学定員(120人)に対する志願倍率を算定すると志願倍率は9.97倍となり、また、最近5年間で最も少ない年度(平成24年度)の志願者数で算定しても8.61倍の志願倍率が見込まれることから、収容定員変更をした場合でも入学者選抜の機能が低下しない志願倍率を維持することができると思込まれる。

なお、心理学科の最近5年間の定員充足の状況は平均で約1.14倍となっているが、今般、収容定員を変更することで定員超過率の適正化を図るとともに、今後とも適切な定員管理に努めることとする。

1 1) 国際文化学部 国際文化学科

国際文化学科の最近5年間の志願者数は、平成24年度2, 176人、平成25年度1, 986人、平成26年度2, 154人、平成27年度2, 119人、平成28年度2, 005人と安定した傾向を維持しており、最近5年間の平均志願者数は2108.75人、入学定員に対する志願者数の平均倍率(志願倍率)は14.06倍、実質的な競争倍率である合格者数に対する受験者数の平均倍率(実質倍率)は3.39倍となっている。

この最近5年間の平均志願者数から収容定員変更後の入学定員(180人)に対する志願倍率を算定すると志願倍率は11.72倍となり、また、最近5年間で最も少ない年度(平成25年度)の志願者数で算定しても11.03倍の志願倍率が見込まれることから、収容定員変更をした場合でも入学者選抜の機能が低下しない志願倍率を維持することができると思込まれる。

なお、国際文化学科の最近5年間の定員充足の状況は平均で約1.18倍となっているが、今般、収容定員を変更することで定員超過率の適正化を図るとともに、今後とも適切な定員管理に努めることとする。

2 福岡県内の人口動向等

1) 福岡県内の年齢別人口の動向による中長期的な見通し【資料9-①】

全国的に18歳人口の減少が予測されている中で、福岡県における18歳人口の減少は比較的緩やかな傾向が示されており、平成27年度の福岡県の年齢別人口によると、福岡県内の0歳から14歳までの各歳人口は、14歳の47,234人から0歳の45,189人まで、微増減を繰り返しながら減少していく。

また、福岡県内の男女別各歳人口の推移をみると、本学の在学者の57.8%を占め

る女子の人口においては、14歳の22,810人から0歳の21,990人へとさらに緩やかな減少の傾向となっていることから、中長期的にみても入学定員を確保できるものと見込まれる。

2) 福岡県内の高等学校及び中学校の在籍者数【資料9-②】

平成27年度の福岡県の学校基本調査によると、収容定員変更の初年度に受験対象者となる福岡県内の高等学校(全日制)に在籍している2年生の生徒数は42,919人、収容定員変更2年目に受験対象者となる福岡県内の高等学校(全日制)に在籍している1年生の生徒数は43,427人となっている。

また、収容定員変更3年目に受験対象者となる福岡県内の中学校に在籍している3年生の生徒数は47,215人、収容定員変更4年目に受験対象者となる福岡県内の中学校に在籍している2年生の生徒数は47,369人で、福岡県の中学校を卒業した者の高等学校等への進学率を勘案した場合でも、今後、福岡県内の大学受験対象者が大きく減少することはなく、中長期的な確保の見通しがあるものと見込まれる。【資料9-③】

3) 福岡県内の高等学校を卒業した者の大学進学状況【資料9-④】

平成27年度の福岡県の学校基本調査によると、福岡県内の高等学校を卒業した者の過去3年間の大学進学状況は、平成25年は卒業生42,806人のうち大学進学者は22,244人で大学進学率は52.0%、平成26年は卒業生41,649人のうち大学進学者は22,129人で大学進学率は53.1%、平成27年は卒業生41,993人のうち大学進学者は22,797人で大学進学率は54.3%となっている。

また、福岡県内の高等学校を卒業した者の過去10年間の大学進学率は、平成18年の48.3%から平成27年は54.3%と6ポイント上昇していることなどからも、中長期的な入学定員の確保ができるものと見込まれる。

4) 福岡県内の高等学校を卒業した者の本学への進学状況【資料9-⑤】

本学における最近5年間の都道府県別の進学状況をみると、福岡県内の高等学校を卒業した者の本学への志願者数は、志願者総数105,146人の約73.76%にあたる77,559人、福岡県内の高等学校を卒業した者の本学への入学者数は、入学者総数9,731人の約75.53%にあたる7,350人となっており、志願者及び入学者ともに福岡県内の高等学校を卒業した者の割合は非常に高いものとなっている。

過去における都道府県別の進学状況からみると、福岡県内の高等学校を卒業した者の本学への志願者数や入学者数における傾向は今後も続くものと見込まれ、先に記した福岡県内の人口動向、福岡県内の高等学校及び中学校の在籍者数、福岡県内の高等学校を卒業した者の大学進学状況等と併せてみた場合、中長期的にも安定した志願者と入学者の確保を見込むことができる。

3 専門の調査機関による進学意向調査結果【資料10】

今般の収容定員の変更計画は、本学の志願状況や福岡県の年齢別人口の動向、高等学校及び中学校の在籍者数、高等学校を卒業した者の大学進学状況などを踏まえたうえで計

画していることから、十分な学生確保が見込めるものであるが、収容定員変更の計画を策定するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から確認することを目的として、福岡県を中心とした九州各県および山口県内に所在する高等学校の2年生に対する進学意向に関するアンケート調査を実施した。

1) 文学部 英文学科

進学意向に関するアンケート調査の結果、西南学院大学を「受験したいと思う」と回答した6,312人のうち、西南学院大学に合格した場合、入学したい学科として英文学科を第1希望と回答した者は493人、第2希望と回答した者は608人となっており、福岡県を中心とした九州各県および山口県内に所在する高等学校の2年生に限定した調査結果においても、英文学科への進学意向の高さがうかがえることから、十分な志願者数を確保することができるものと見込まれる。

2) 文学部 外国語学科 英語専攻

進学意向に関するアンケート調査の結果、西南学院大学を「受験したいと思う」と回答した6,312人のうち、西南学院大学に合格した場合、入学したい学科として外国語学科英語専攻を第1希望と回答した者は662人、第2希望と回答した者は560人となっており、福岡県を中心とした九州各県および山口県内に所在する高等学校の2年生に限定した調査結果においても、外国語学科英語専攻への進学意向の高さがうかがえることから、十分な志願者数を確保することができるものと見込まれる。

3) 文学部 外国語学科 フランス語専攻

進学意向に関するアンケート調査の結果、西南学院大学を「受験したいと思う」と回答した6,312人のうち、西南学院大学に合格した場合、入学したい学科として外国語学科フランス語専攻を第1希望と回答した者は62人、第2希望と回答した者は127人となっており、福岡県を中心とした九州各県および山口県内に所在する高等学校の2年生に限定した調査結果においても、外国語学科フランス語専攻への進学意向の高さがうかがえることから、十分な志願者数を確保することができるものと見込まれる。

4) 商学部 商学科

進学意向に関するアンケート調査の結果、西南学院大学を「受験したいと思う」と回答した6,312人のうち、西南学院大学に合格した場合、入学したい学科として商学科を第1希望と回答した者は465人、第2希望と回答した者は593人となっており、福岡県を中心とした九州各県および山口県内に所在する高等学校の2年生に限定した調査結果においても、商学科への進学意向の高さがうかがえることから、十分な志願者数を確保することができるものと見込まれる。

5) 商学部 経営学科

進学意向に関するアンケート調査の結果、西南学院大学を「受験したいと思う」と回答した6,312人のうち、西南学院大学に合格した場合、入学したい学科として経営

学科を第1希望と回答した者は316人、第2希望と回答した者は496人となっており、福岡県を中心とした九州各県および山口県内に所在する高等学校の2年生に限定した調査結果においても、経営学科への進学意向の高さがうかがえることから、十分な志願者数を確保することができるものと見込まれる。

6) 経済学部 経済学科

進学意向に関するアンケート調査の結果、西南学院大学を「受験したいと思う」と回答した6,312人のうち、西南学院大学に合格した場合、入学したい学科として経済学科を第1希望と回答した者は984人、第2希望と回答した者は711人となっており、福岡県を中心とした九州各県および山口県内に所在する高等学校の2年生に限定した調査結果においても、経済学科への進学意向の高さがうかがえることから、十分な志願者数を確保することができるものと見込まれる。

7) 経済学部 国際経済学科

進学意向に関するアンケート調査の結果、西南学院大学を「受験したいと思う」と回答した6,312人のうち、西南学院大学に合格した場合、入学したい学科として国際経済学科を第1希望と回答した者は175人、第2希望と回答した者は323人となっており、福岡県を中心とした九州各県および山口県内に所在する高等学校の2年生に限定した調査結果においても、国際経済学科への進学意向の高さがうかがえることから、十分な志願者数を確保することができるものと見込まれる。

8) 法学部 法律学科

進学意向に関するアンケート調査の結果、西南学院大学を「受験したいと思う」と回答した6,312人のうち、西南学院大学に合格した場合、入学したい学科として法律学科を第1希望と回答した者は776人、第2希望と回答した者は399人となっており、福岡県を中心とした九州各県および山口県内に所在する高等学校の2年生に限定した調査結果においても、法律学科への進学意向の高さがうかがえることから、十分な志願者数を確保することができるものと見込まれる。

9) 法学部 国際関係法学科

進学意向に関するアンケート調査の結果、西南学院大学を「受験したいと思う」と回答した6,312人のうち、西南学院大学に合格した場合、入学したい学科として国際関係法学科を第1希望と回答した者は121人、第2希望と回答した者は300人となっており、福岡県を中心とした九州各県および山口県内に所在する高等学校の2年生に限定した調査結果においても、国際関係法学科への進学意向の高さがうかがえることから、十分な志願者数を確保することができるものと見込まれる。

10) 人間科学部 心理学科

進学意向に関するアンケート調査の結果、西南学院大学を「受験したいと思う」と回答した6,312人のうち、西南学院大学に合格した場合、入学したい学科として心理学科を第1希望と回答した者は642人、第2希望と回答した者は639人となっており、福岡県を中心とした九州各県および山口県内に所在する高等学校の2年生に限定した調査結果においても、心理学科への進学意向の高さがうかがえることから、十分な志願者数を確保することができるものと見込まれる。

おり、福岡県を中心とした九州各県および山口県内に所在する高等学校の2年生に限定した調査結果においても、心理学科への進学意向の高さがうかがえることから、十分な志願者数を確保することができるものと見込まれる。

1 1) 国際文化学部 国際文化学科

進学意向に関するアンケート調査の結果、西南学院大学を「受験したいと思う」と回答した6,312人のうち、西南学院大学に合格した場合、入学したい学科として国際文化学科を第1希望と回答した者は537人、第2希望と回答した者は468人となっており、福岡県を中心とした九州各県および山口県内に所在する高等学校の2年生に限定した調査結果においても、国際文化学科への進学意向の高さがうかがえることから、十分な志願者数を確保することができるものと見込まれる。

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けた具体的な取組状況としては、大学案内や学生募集用パンフレットの配布をはじめ、高校生向けの一般広報紙媒体による広報活動の他、ホームページ等の電子媒体など、多数のメディアを使用したPR活動を行うとともに、過去において入学者の受入れ実績のある高等学校を中心とする訪問活動などによる積極的な情報の提供を行うこととしている。

また、オープンキャンパスや高等学校における進路ガイダンスをはじめ各地域における進学相談会などの開催を通じて、各学部学科における学位授与方針・教育課程編成の方針・入学者の受入方針をはじめとする様々な教育情報について、福岡県及び隣接県を中心とする高校生や保護者、高等学校教諭に対して広く周知を図ることとしている。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

1 文学部

文学部は、外国語（英語・フランス語）に関する語学的知識の修得や実践的運用能力の養成を重視し、言語の本質や機能、英米やフランスの文学・文化・社会のあり方、人間関係、等について豊かな識見を養うことによって、グローバルな視野に立って日本のみならず世界で活躍できる人材の養成を目的とする。

この目的のもとに、「英文学科」、「外国語学科英語専攻」、「外国語学科フランス語専攻」を置き、異なった社会・思想・人間のあり方を多様な観点から総合的に理解しつつ自己認識を深め、幅広い教養と高い見識、旺盛な知的好奇心、自発性と創造性、等を涵養するよう努める。

1) 英文学科

英文学科は、英語、英米文学・文化の教育・研究を通して、実践的な英語運用能力、広く深い教養と専門知識、豊かな感性と想像力、等を陶冶することに努め、グローバル化した社会の要請に応じうる人材を養成することを目的とする。

2) 文学部 外国語学科 英語専攻

外国語学科英語専攻は、英語学・英語教育、コミュニケーション学、ビジネス英語、言語文化を教育・研究の柱とし、実践的な英語運用能力の育成を図るとともに、英語と文化や社会との関係を認識する能力を養い、英語の特性を科学的に分析する能力を涵養し、その研究成果を教育に活かす能力を育成し、社会の発展に寄与する自発的で創造性豊かな人材を養成することを目的とする。

3) 文学部 外国語学科 フランス語専攻

外国語学科フランス語専攻は、実践的なフランス語運用能力の育成を基礎として、より総合的で創造的なコミュニケーション能力の修得へと導きながら、言語を取り巻く社会や文化のありようを理解し、自己と異なる他者を発見してこれと積極的に対話を行ない、国際化・情報化する世界の中で知的行動力をもって活躍しうる人材を養成することを目的とする。

2 商学部

商学部は、建学の精神に基づいて、高い倫理観と深い思考力を備えたビジネス・パーソンの育成を目的とする。具体的には、キリスト教学・商学・会計学・経営学・経営情報学の分野における高度な学術理論の教育と研究を通じて、経済社会に生起する問題の本質を正しく認識し、高度な倫理観に支えられた論理的な思考力をもって、新たな環境を積極的に創造する志の高い人材を養成することで、広く社会への貢献を目指す。

1) 商学科

商学科では、商学と会計学の分野における高度な学術理論の教育と研究を通じて、商取引に関する正しい理解を深めさせる。モノとカネの効率的配分や円滑な流通を目的とする商学と企業成果の計算・公表を目的とする会計学について教育することで、問題設定能力とその解決能力を有するとともに、経済社会に柔軟に対応でき、かつ、高い倫理観と高度な専門知識を身に付けた人材を養成することを目的とする。

2) 経営学科

経営学科では、経営学と経営情報学の分野における高度な学術理論の教育と研究を通じて、企業経営に関する正しい理解を深めさせる。現代の経済活動の重要な一翼を担っている企業の経営について、思想・戦略・組織・ヒト・モノ・カネ・情報・国際・環境などの観点から多面的に教育することで、高度な倫理観・理解力・構想力・表現力及び対人関係形成能力を備えた優れた人材を養成することを目的とする。

3 経済学部

経済学部の理念は、経済学の基本的知識と特有の思考法を基礎とした、現代社会を生き抜く力の涵養であり、教育の目的は、社会における重要問題の所在を自ら発見し、それに関して必要となる事項を自ら調べる能力、そして、その結果を簡潔かつ明瞭に報告し、さらに問題に的確に対処できる能力を身に付けさせることを基礎として、社会の変動を正確に理解し、その展開過程に積極的に参画できる企業人、公務員その他の社会人を養成することにある。

1) 経済学科

経済学科は、経済学の理論体系、実証分析、政策分析、経済の歴史的分析及び現実経済の把握に関する諸分野の科目を有機的かつ総合的に教授し、日本と地域社会を中心とした経済の仕組みの論理的構造と実態とを理解させるとともに、データを科学的に分析し、先入観にとらわれない合理的結論を導き出す経済学的思考方法を鍛錬することによって、種々の経済社会問題に対する実践的解決法を見出す能力を有する人材を養成することを目的とする。

2) 国際経済学科

国際経済学科は、先入観にとらわれない合理的な経済学的思考方法の研鑽に加えて、国際社会の変化と国際経済及びビジネスのグローバル化の諸現象と相互の関連性、並びにそこから派生する諸問題の分析手法と対処方法立案の考え方を教授し、歴史・伝統・習慣・文化・宗教等の異なる諸外国との交流に役立つ語学力を基礎とした幅広い国際感覚を養成することによって、社会の国際化に寄与しうる人材を養成することを目的とする。

4 法学部

法学部は、法学及び政治学の専門学智を基礎に、多様な価値観の理解と、批判的思惟の力を育み、変容する現代社会の秩序構成に寄与できる識見を養うことを目的とする。

1) 法律学科

法律学科は、法学及び政治学の専門学智を修め、伶俐な識見を養うとともに、多様な価値観への理解を促し、公共の精神の涵養に努め、変容する現代社会に対する批判的思考力を育み、多方面にわたる社会活動に貢献できる人材を養成することを目的とする。

2) 国際関係法学科

国際関係法学科は、社会の国際化に起因する諸現象を法的・政治的観点から学術的に深く掘り下げて理解しうる識見を養い、普遍的な視野と共生の精神の涵養に努め、多様な活動の場において国際共同社会の課題に取組み、異文化交流に貢献できる人材を養成することを目的とする。

5 人間科学部

人間科学部は、キリスト教主義による人間教育の理念に基づいて、幅広く高い教養と人間に関する諸分野の学術的成果を習得させることによって、人間の生涯に亘る成長と発達についての深い理解、他者を受容し共感する能力、ならびに地域社会、わが国と世界についての主体的思考力と総合的な判断力をもった個人を育成するとともに、とりわけ教育、保育、福祉、心理の各分野において優れた働き手として貢献しうる専門家を養成することを目的とする。

1) 心理学科

心理学科は、キリスト教主義による人間教育の理念に基づいて教育を行ない、心理学の分野に関する専門的知識と技能の習得を通じて、様々な事態において人の心を科学

的に調査および分析できる専門的な知識技術をもつ人材を養成するとともに、人間関係調整能力等をもち、応用力を備えた人材を育成し、グローバルな視点から社会に貢献しうる人材を養成することを目的とする。

6 国際文化学部

国際文化学部は、人類が今までに生み出し発展させてきた古今東西の文化を、地域文化、比較文化及び表象文化の視点から歴史的・総合的に捉え、地域と世界、文化と芸術に関する専門的知識と国際的かつグローバルな視野を持つことによって、地域社会及び国際社会に貢献し、現代世界において活躍する職業人及び文化の継承・発展と新たな文化の創造をなしうる学者・芸術家などの人材を養成することを目的とする。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠【資料11】

1 最近5年間の求人件数の状況

本学における最近5年間の求人件数の実績は、平成23年度は就職希望者1,394人に対して求人件数2,486件で求人倍率は1.78倍、平成24年度は就職希望者1,357人に対して求人件数2,780件で求人倍率は2.05倍、平成25年度は就職希望者1,439人に対して求人件数3,045件で求人倍率は2.12倍、平成26年度は就職希望者1,447人に対して求人件数3,197件で求人倍率は2.21倍、平成27年度は就職希望者1,664人に対して求人件数3,228件で求人倍率は1.94倍となっている。

このように、昨今の就職難の状況下でも大きな影響を受けることなく、多数の求人件数を得ていることは、本学における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、人材需要の動向等社会の要請を踏まえたものであることを示しているものであり、収容定員を増加した場合でも、就職先の確保については十分に見込めるものである。

2 最近5年間の就職者数の状況

収容定員変更を計画している学部・学科等の最近5年間の就職希望者数に対する就職者数の実績は、以下の通り、昨今の就職難の状況下においても大きな影響を受けることなく、高い就職率で推移しており、このことは、本学における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、人材需要の動向等社会の要請を踏まえたものであることの裏付けとなるものであり、収容定員を増加した場合でも、卒業後の進路については十分に見込めるものである。

1) 文学部 英文学科

英文学科の最近5年間の就職率（就職希望者数に対する就職者数）は、平成23年度は90.5%（就職者数76人／就職希望者84人）、平成24年度は94.7%（就職者数89人／就職希望者94人）、平成25年度は97.7%（就職者数86人／就職希望者88人）、平成26年度は98.7%（就職者数76人／就職希望者77人）、平成27年度は94.7%（就職者数90人／就職希望者95人）と高い就職率を示している。

2) 文学部 外国語学科 英語専攻

外国語学科英語専攻の最近5年間の就職率(就職希望者数に対する就職者数)は、平成23年度は86.9%(就職者数73人/就職希望者84人)、平成24年度は97.7%(就職者数86人/就職希望者88人)、平成25年度は94.4%(就職者数85人/就職希望者90人)、平成26年度は96.7%(就職者数87人/就職希望者90人)、平成27年度は94.5%(就職者数86人/就職希望者91人)と高い就職率を示している。

3) 文学部 外国語学科 フランス語専攻

外国語学科フランス語専攻の最近5年間の就職率(就職希望者数に対する就職者数)は、平成23年度は81.6%(就職者数40人/就職希望者49人)、平成24年度は90.9%(就職者数30人/就職希望者33人)、平成25年度は92.3%(就職者数36人/就職希望者39人)、平成26年度は100.0%(就職者数47人/就職希望者47人)、平成27年度は91.5%(就職者数43人/就職希望者47人)と高い就職率を示している。

4) 商学部 商学科

商学科の最近5年間の就職率(就職希望者数に対する就職者数)は、平成23年度は90.4%(就職者数122人/就職希望者135人)、平成24年度は94.5%(就職者数121人/就職希望者128人)、平成25年度は94.6%(就職者数141人/就職希望者149人)、平成26年度は97.8%(就職者数131人/就職希望者134人)、平成27年度は100.0%(就職者数154人/就職希望者154人)と高い就職率を示している。

5) 商学部 経営学科

経営学科の最近5年間の就職率(就職希望者数に対する就職者数)は、平成23年度は94.3%(就職者数132人/就職希望者140人)、平成24年度は96.2%(就職者数125人/就職希望者130人)、平成25年度は94.4%(就職者数134人/就職希望者142人)、平成26年度は98.7%(就職者数154人/就職希望者156人)、平成27年度は96.8%(就職者数153人/就職希望者158人)と高い就職率を示している。

6) 経済学部 経済学科

経済学科の最近5年間の就職率(就職希望者数に対する就職者数)は、平成23年度は90.3%(就職者数167人/就職希望者185人)、平成24年度は94.8%(就職者数165人/就職希望者174人)、平成25年度は94.1%(就職者数177人/就職希望者188人)、平成26年度は98.2%(就職者数165人/就職希望者168人)、平成27年度は95.7%(就職者数201人/就職希望者210人)と高い就職率を示している。

7) 経済学部 国際経済学科

国際経済学科の最近5年間の就職率(就職希望者数に対する就職者数)は、平成23年度は88.5%(就職者数77人/就職希望者87人)、平成24年度は95.7%(就職者数90人/就職希望者94人)、平成25年度は97.7%(就職者数86人/就職希望者88人)、平成26年度は98.9%(就職者数92人/就職希望者93人)、平成27年度は100.0%(就職者数78人/就職希望者78人)と高い就職率を示している。

8) 法学部 法律学科

法律学科の最近5年間の就職率(就職希望者数に対する就職者数)は、平成23年度は87.7%(就職者数199人/就職希望者227人)、平成24年度は84.0%(就職者数168人/就職希望者200人)、平成25年度は95.2%(就職者数198人/就職希望者208人)、平成26年度は97.5%(就職者数234人/就職希望者240人)、平成27年度は93.3%(就職者数266人/就職希望者285人)と高い就職率を示している。

9) 法学部 国際関係法学科

国際関係法学科の最近5年間の就職率(就職希望者数に対する就職者数)は、平成23年度は84.1%(就職者数58人/就職希望者69人)、平成24年度は84.9%(就職者数45人/就職希望者53人)、平成25年度は88.7%(就職者数55人/就職希望者62人)、平成26年度は98.7%(就職者数75人/就職希望者76人)、平成27年度は93.5%(就職者数72人/就職希望者77人)と高い就職率を示している。

10) 人間科学部 心理学科

心理学科は、平成24年4月に開設しており、平成28年3月に初めての卒業生を輩出したところであるが、平成27年度の就職率(就職希望者数に対する就職者数)は95.8%(就職者数91人/就職希望者95人)と高い就職率を示している。また、平成28年度卒業生の大学院進学率は9.6%(11名)であり、平成29年度から公認心理師国家資格のカリキュラムが制定されることにより、大学院進学希望者はさらに増加すると考えられる。

11) 国際文化学部 国際文化学科

国際文化学科の最近5年間の就職率(就職希望者数に対する就職者数)は、平成23年度は88.2%(就職者数112人/就職希望者127人)、平成24年度は89.8%(就職者数114人/就職希望者127人)、平成25年度は95.1%(就職者数156人/就職希望者164人)、平成26年度は94.3%(就職者数100人/就職希望者106人)、平成27年度は94.0%(就職者数140人/就職希望者149人)と高い就職率を示している。

3 専門の調査機関等による企業、関係団体等への採用意向調査【資料12】

今般の収容定員の変更計画は、本学の求人状況や就職状況などを踏まえたうえで計画

していることから、十分な卒業後の進路が見込めるものであるが、収容定員変更の計画を策定するうえで、本学の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、人材需要の動向等社会の要請を踏まえたものであることを客観的根拠となるデータから検証することを目的として、企業や関係団体等を対象として、本学の卒業生に対する人材需要に関するアンケート調査を実施した。

1) 文学部 英文学科

英文学科を卒業した者に対する採用意向については、調査票回収件数435件の約71.0%にあたる309社が「採用したいと思う」と回答している。

また、「採用したいと思う」と回答した企業や関係団体等のうち77社が採用可能人数を示しており、その採用可能人数を合わせると119人の採用が見込まれる結果となっている。

さらに、「採用したいと思う」と回答した企業や関係団体等のうち採用可能人数を未定としている227社の採用可能人数を1人としてカウントした場合、全体で346人の採用が見込まれる結果となっている。

2) 文学部 外国語学科 英語専攻

外国語学科英語専攻を卒業した者に対する採用意向については、調査票回収件数435件の約72.2%にあたる314社が「採用したいと思う」と回答している。

また、「採用したいと思う」と回答した企業や関係団体等のうち80社が採用可能人数を示しており、その採用可能人数を合わせると127人の採用が見込まれる結果となっている。

さらに、「採用したいと思う」と回答した企業や関係団体等のうち採用可能人数を未定としている227社の採用可能人数を1人としてカウントした場合、全体で354人の採用が見込まれる結果となっている。

3) 文学部 外国語学科 フランス語専攻

外国語学科フランス語専攻を卒業した者に対する採用意向については、調査票回収件数435件の約57.2%にあたる249社が「採用したいと思う」と回答している。

また、「採用したいと思う」と回答した企業や関係団体等のうち49社が採用可能人数を示しており、その採用可能人数を合わせると73人の採用が見込まれる結果となっている。

さらに、「採用したいと思う」と回答した企業や関係団体等のうち採用可能人数を未定としている194社の採用可能人数を1人としてカウントした場合、全体で267人の採用が見込まれる結果となっている。

4) 商学部 商学科

商学科を卒業した者に対する採用意向については、調査票回収件数435件の約89.9%にあたる391社が「採用したいと思う」と回答している。

また、「採用したいと思う」と回答した企業や関係団体等のうち118社が採用可能

人数を示しており、その採用可能人数を合わせると202人の採用が見込まれる結果となっている。

さらに、「採用したいと思う」と回答した企業や関係団体等のうち採用可能人数を未定としている267社の採用可能人数を1人としてカウントした場合、全体で469人の採用が見込まれる結果となっている。

5) 商学部 経営学科

経営学科を卒業した者に対する採用意向については、調査票回収件数435件の約88.3%にあたる384社が「採用したいと思う」と回答している。

また、「採用したいと思う」と回答した企業や関係団体等のうち122社が採用可能人数を示しており、その採用可能人数を合わせると217人の採用が見込まれる結果となっている。

さらに、「採用したいと思う」と回答した企業や関係団体等のうち採用可能人数を未定としている257社の採用可能人数を1人としてカウントした場合、全体で474人の採用が見込まれる結果となっている。

6) 経済学部 経済学科

経済学科を卒業した者に対する採用意向については、調査票回収件数435件の約88.7%にあたる386社が「採用したいと思う」と回答している。

また、「採用したいと思う」と回答した企業や関係団体等のうち119社が採用可能人数を示しており、その採用可能人数を合わせると212人の採用が見込まれる結果となっている。

さらに、「採用したいと思う」と回答した企業や関係団体等のうち採用可能人数を未定としている260社の採用可能人数を1人としてカウントした場合、全体で472人の採用が見込まれる結果となっている。

7) 経済学部 国際経済学科

国際経済学科を卒業した者に対する採用意向については、調査票回収件数435件の約81.4%にあたる354社が「採用したいと思う」と回答している。

また、「採用したいと思う」と回答した企業や関係団体等のうち101社が採用可能人数を示しており、その採用可能人数を合わせると175人の採用が見込まれる結果となっている。

さらに、「採用したいと思う」と回答した企業や関係団体等のうち採用可能人数を未定としている245社の採用可能人数を1人としてカウントした場合、全体で420人の採用が見込まれる結果となっている。

8) 法学部 法律学科

法律学科を卒業した者に対する採用意向については、調査票回収件数435件の約79.8%にあたる347社が「採用したいと思う」と回答している。

また、「採用したいと思う」と回答した企業や関係団体等のうち99社が採用可能人

数を示しており、その採用可能人数を合わせると137人の採用が見込まれる結果となっている。

さらに、「採用したいと思う」と回答した企業や関係団体等のうち採用可能人数を未定としている242社の採用可能人数を1人としてカウントした場合、全体で379人の採用が見込まれる結果となっている。

9) 法学部 国際関係法学科

国際関係法学科を卒業した者に対する採用意向については、調査票回収件数435件の約71.7%にあたる312社が「採用したいと思う」と回答している。

また、「採用したいと思う」と回答した企業や関係団体等のうち76社が採用可能人数を示しており、その採用可能人数を合わせると111人の採用が見込まれる結果となっている。

さらに、「採用したいと思う」と回答した企業や関係団体等のうち採用可能人数を未定としている231社の採用可能人数を1人としてカウントした場合、全体で342人の採用が見込まれる結果となっている。

10) 人間科学部 心理学科

心理学科を卒業した者に対する採用意向については、調査票回収件数435件の約67.6%にあたる294社が「採用したいと思う」と回答している。

また、「採用したいと思う」と回答した企業や関係団体等のうち69社が採用可能人数を示しており、その採用可能人数を合わせると99人の採用が見込まれる結果となっている。

さらに、「採用したいと思う」と回答した企業や関係団体等のうち採用可能人数を未定としている218社の採用可能人数を1人としてカウントした場合、全体で317人の採用が見込まれる結果となっている。

11) 国際文化学部 国際文化学科

国際文化学科を卒業した者に対する採用意向については、調査票回収件数435件の約70.1%にあたる305社が「採用したいと思う」と回答している。

また、「採用したいと思う」と回答した企業や関係団体等のうち69社が採用可能人数を示しており、その採用可能人数を合わせると105人の採用が見込まれる結果となっている。

さらに、「採用したいと思う」と回答した企業や関係団体等のうち採用可能人数を未定としている228社の採用可能人数を1人としてカウントした場合、全体で333人の採用が見込まれる結果となっている。

なお、本調査による企業や関係団体等の過去3年間の平均的な正規社員の採用人数を合計すると14,415人となり、この採用総数を本学の卒業生に対する採用意向に照らしてみた場合、「採用したいと思う」と回答した企業の採用総数は10,984人となることから、卒業後の進路については十分な見込みがあるものと考えられる。

このような限定した企業や関係団体等への調査結果においても、本学で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路は十分に見込めるものである。

資料目次

・ 資料 8	最近 5 年間の志願者数等の状況	p.1
・ 資料 9-①	福岡県年齢（各歳）別人口	p.5
・ 資料 9-②	福岡県高等学校の生徒数	p.7
・ 資料 9-③	福岡県中学校の学校数、生徒数及び教職員数	p.9
・ 資料 9-④	福岡県高等学校の進路別卒業者の推移	p.13
・ 資料 9-⑤	最近 5 年間の都道府県別進学状況	p.15
・ 資料 10	入学定員増に関するニーズ調査結果報告書（高校生対象・抜粋版）	p.21
・ 資料 11	最近 5 年間の求人件数等の状況	p.39
・ 資料 12	入学定員増に関するニーズ調査結果報告書（企業対象・抜粋版）	p.41
・ 補足資料 1	定員増ニーズ調査報告書(高校生対象)	p.65
・ 補足資料 2	定員増ニーズ調査報告書(企業対象)	p.121
・ 補足資料 3	設置構想資料	p.177

最近5年間の志願者数等の状況

区 分	項 目	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	5ヶ年平均
神学部 神学科	入学定員	10	10	10	10	10	10
	志願者数	83	82	93	105	62	85
	受験者数	81	82	90	102	62	83.4
	合格者数	31	26	27	24	36	28.8
	入学者数	11	10	7	5	16	9.8
	志願倍率	8.3	8.2	9.3	10.5	6.2	8.5
	実質倍率	2.61	3.15	3.33	4.25	1.72	3.01
充足率	1.1	1	0.7	0.5	1.6	0.98	
文学部 英文学科	入学定員	100	100	100	100	100	100
	志願者数	1423	1218	1255	1284	1106	1257.2
	受験者数	1409	1197	1282	1268	1087	1248.6
	合格者数	443	413	414	423	434	425.4
	入学者数	114	107	113	120	123	115.4
	志願倍率 (定員増120人)	14.23 (11.86)	12.18 (10.15)	12.55 (10.46)	12.84 (10.7)	11.06 (9.22)	12.57 (10.48)
	実質倍率	3.18	2.9	3.1	3	2.5	2.94
充足率	1.14	1.07	1.13	1.2	1.23	1.15	
文学部 外国語学科 英語専攻	入学定員	100	100	100	100	100	100
	志願者数	1305	1273	1319	1427	1284	1321.6
	受験者数	1298	1259	1305	1420	1267	1309.8
	合格者数	355	352	336	318	333	338.8
	入学者数	116	107	109	121	112	113
	志願倍率 (定員増120人)	13.05 (10.88)	12.73 (10.61)	13.19 (10.99)	14.27 (11.89)	12.84 (10.7)	13.22 (11.01)
	実質倍率	3.66	3.58	3.88	4.47	3.8	3.88
充足率	1.16	1.07	1.09	1.21	1.12	1.13	
文学部 外国語学科 フランス語専攻	入学定員	50	50	50	50	50	50
	志願者数	589	636	571	695	462	590.6
	受験者数	586	627	559	693	454	583.8
	合格者数	196	218	231	227	197	213.8
	入学者数	55	67	63	56	57	59.6
	志願倍率 (定員増60人)	11.78 (9.82)	12.72 (10.6)	11.42 (9.52)	13.9 (11.58)	9.24 (7.7)	11.81 (9.84)
	実質倍率	2.99	2.88	2.42	3.05	2.3	2.73
充足率	1.1	1.34	1.26	1.12	1.14	1.19	
商学部 商学科	入学定員	150	150	150	150	150	150
	志願者数	2868	2313	2285	2425	2391	2456.4
	受験者数	2836	2293	2266	2395	2362	2430.4
	合格者数	668	693	626	636	658	656.2
	入学者数	172	186	162	186	167	174.6
	志願倍率 (定員増180人)	19.12 (15.93)	15.42 (12.85)	15.23 (12.69)	16.17 (13.47)	15.94 (13.28)	16.38 (13.65)
	実質倍率	4.25	3.31	3.62	3.77	3.59	3.71
充足率	1.15	1.24	1.08	1.24	1.11	1.16	

最近5年間の志願者数等の状況

区分	項目	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	5ヶ年平均
商学部 経営学科	入学定員	150	150	150	150	150	150
	志願者数	2211	1547	1855	1895	2225	1880.5
	受験者数	2188	1528	1841	1866	2207	1860.5
	合格者数	603	608	507	525	550	547.5
	入学者数	186	185	145	184	162	169
	志願倍率 (定員増180人)	14.74 (12.28)	10.31 (8.59)	12.37 (10.31)	12.63 (10.53)	14.83 (12.36)	12.54 (10.45)
	実質倍率	3.63	2.51	3.63	3.55	4.01	3.47
充足率	1.24	1.23	0.97	1.23	1.08	1.13	
経済学部 経済学科	入学定員	200	200	200	200	200	200
	志願者数	2931	2330	2555	2632	2509	2506.5
	受験者数	2907	2304	2529	2592	2486	2477.75
	合格者数	930	968	899	919	943	932.25
	入学者数	243	257	216	222	243	234.5
	志願倍率 (定員増240人)	14.66 (12.21)	11.65 (9.71)	12.78 (10.65)	13.16 (10.97)	12.55 (10.45)	12.53 (10.44)
	実質倍率	3.13	2.38	2.81	2.82	2.64	2.76
充足率	1.22	1.29	1.08	1.11	1.22	1.17	
経済学部 国際経済学科	入学定員	100	100	100	100	100	100
	志願者数	1495	1447	1499	1506	1355	1451.75
	受験者数	1488	1440	1491	1498	1340	1442.25
	合格者数	450	471	497	515	482	491.25
	入学者数	122	98	132	122	100	113
	志願倍率 (定員増120人)	14.95 (12.46)	14.47 (12.06)	14.99 (12.49)	15.06 (12.55)	13.55 (11.29)	14.52 (12.1)
	実質倍率	3.31	3.06	3	2.91	2.78	3.01
充足率	1.22	0.98	1.32	1.22	1	1.13	
法学部 法律学科	入学定員	270	270	270	270	270	270
	志願者数	2667	2240	2108	2572	2009	2232.25
	受験者数	2597	2171	2059	2500	1951	2170.25
	合格者数	976	934	911	920	939	926
	入学者数	321	328	292	317	324	315.25
	志願倍率 (定員増315人)	9.88 (8.47)	8.3 (7.11)	7.81 (6.69)	9.53 (8.17)	7.44 (6.38)	8.27 (7.09)
	実質倍率	2.66	2.32	2.26	2.72	2.08	2.41
充足率	1.19	1.21	1.08	1.17	1.2	1.17	
法学部 国際関係法学科	入学定員	80	80	80	80	80	80
	志願者数	1001	605	516	486	571	544.5
	受験者数	963	581	491	469	553	523.5
	合格者数	314	259	232	219	234	236
	入学者数	78	92	97	96	88	93.25
	志願倍率 (定員増95人)	12.51 (10.54)	7.56 (6.37)	6.45 (5.43)	6.08 (5.12)	7.14 (6.01)	6.81 (5.73)
	実質倍率	3.07	2.24	2.12	2.14	2.36	2.39
充足率	0.98	1.15	1.21	1.2	1.1	1.17	

最近5年間の志願者数等の状況

区 分	項 目	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	5ヶ年平均
人間科学部 児童教育学科	入学定員	100	100	100	100	100	100
	志願者数	1533	1330	1646	1769	1649	1598.5
	受験者数	1500	1298	1598	1734	1601	1557.75
	合格者数	435	436	378	440	468	430.5
	入学者数	123	118	99	128	113	114.5
	志願倍率	15.33	13.3	16.46	17.69	16.49	15.99
	実質倍率 充足率	3.45 1.23	2.98 1.18	4.23 0.99	3.94 1.28	3.42 1.13	3.6 1.15
人間科学部 社会福祉学科	入学定員	110	110	110	110	110	110
	志願者数	1254	1338	1464	1558	1760	1530
	受験者数	1246	1327	1440	1545	1744	1514
	合格者数	470	485	433	542	495	488.75
	入学者数	124	143	110	170	115	134.5
	志願倍率	11.4	12.16	13.31	14.16	16	13.91
	実質倍率 充足率	2.65 1.13	2.74 1.3	3.33 1	2.85 1.55	3.52 1.05	3.02 1.22
人間科学学科 心理学科	入学定員	100	100	100	100	100	100
	志願者数	1265	1172	1145	1437	1033	1196.75
	受験者数	1218	1133	1111	1384	1022	1162.5
	合格者数	453	411	421	371	328	382.75
	入学者数	118	108	125	87	137	114.25
	志願倍率 (定員増120人)	12.65 (10.54)	11.72 (9.77)	11.45 (9.54)	14.37 (11.98)	10.33 (8.61)	11.97 (9.97)
	実質倍率 充足率	2.69 1.18	2.76 1.08	2.64 1.25	3.73 0.87	3.12 1.37	2.99 1.14
国際文化学部 国際文化学科	入学定員	150	150	150	150	150	150
	志願者数	2005	2119	2154	1986	2176	2108.75
	受験者数	1988	2103	2143	1971	2153	2092.5
	合格者数	600	592	585	657	626	615
	入学者数	196	167	161	206	172	176.5
	志願倍率 (定員増180人)	13.37 (11.14)	14.13 (11.77)	14.36 (11.97)	13.24 (11.03)	14.51 (12.09)	14.06 (11.72)
	実質倍率 充足率	3.31 1.31	3.55 1.11	3.66 1.07	3 1.37	3.44 1.15	3.39 1.18

著作権者の許諾が得られない書類等について

1 (書類等の題名)

学生の確保の見通し等を記載した書類

【資料 9-①】福岡県年齢(各歳)別人口(5～6ページ)

【資料 9-②】福岡県高等学校の生徒数(7～8ページ)

【資料 9-③】福岡県中学校の学校数、生徒数及び教職員数(9～12ページ)

【資料 9-④】福岡県高等学校の進路別卒業者の推移(13～14ページ)

2 (出典)

福岡県企画・地域振興部調査統計課

3 (引用範囲)

【資料 9-①】・・・人口調査 第2表 市区町村別・年齢別人口等(平成27年7月1日現在)統計表01 県計

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/dataweb/07-2015jinkouidou-2hyou.html>

【資料 9-②】・・・平成27年度学校基本調査 第6表 市郡別高等学校の学校数、生徒数及び教職員数

【資料 9-③】・・・平成27年度学校基本調査 第5表 市区町村別中学校の学校数、学級数、生徒数及び教職員数

【資料 9-④】・・・平成27年度学校基本調査 第13表 高等学校の進路別卒業者の推移

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/dataweb/search-1021-2015.html>

4 (その他の説明)

題名と引用元を記入し所要箇所を枠で囲んだ。

最近5年間の都道府県別進学状況(平成28年度)

都道府県名	神学科		英文学科		英語専攻		フランス語専攻		商学科		経営学科		経済学科		国際経済学科		法律学科		国際関係法学科		児童教育学科		社会福祉学科		心理学科		国際文化学科		合計		
	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	
北海道			1						1	2	3																1	8	0		
青森県																													0	0	
岩手県									1														2	1					4	0	
宮城県																				1									1	0	
秋田県																													0	0	
山形県						1																							1	0	
福島県																													0	0	
北海道・東北	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	1	0	14	0
茨城県																						5	1						5	1	
栃木県																					1			1				1	3	0	
群馬県																													0	0	
埼玉県													2		1														3	0	
千葉県									2									1							2				5	0	
東京都		1											2				2					2	1	3			1	11	1		
神奈川県				3		2														1									6	0	
関東	0	0	1	0	3	0	2	0	2	0	0	0	4	0	1	0	3	0	2	0	7	2	4	0	2	0	2	0	33	2	
新潟県			1														1												6	0	
富山県																													0	0	
石川県																								1		3			4	0	
福井県																													0	0	
山梨県	2				1												2		2		1		1		1			10	0		
長野県																													0	0	
北陸・甲信越	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	1	0	2	0	8	0	0	0	20	0	
岐阜県																					1								1	0	
静岡県											1	1	3				5		1	1				2		4	1		16	3	
愛知県	1								1								3		1				1		3		2		12	0	
三重県						2															2								4	0	
東海	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	1	3	0	0	0	8	0	5	1	0	0	3	0	7	1	2	0	33	3	
滋賀県																	1												1	0	
京都府																	3												3	0	
大阪府			1		1		1		5		3		4	1	3		2	1	1		1		3	1	1		1	27	3		
兵庫県									3		2		1							1		1							8	0	
奈良県																													0	0	
和歌山県									2				1																3	0	
近畿	0	0	1	0	1	0	1	0	10	0	5	0	6	1	3	0	6	1	2	0	2	0	3	1	1	0	1	0	42	3	
鳥取県			1																										1	0	
島根県											1										2		1						8	0	
岡山県	1								6		4		2		2		1				5		6	1	8		2		37	1	
広島県	2		13		12		7	2	17	1	11	1	17	1	5		19	3	8		21	3	6		13	3	18	1	169	15	
山口県	2		43	5	38	2	14		85	5	74	6	134	12	48	5	112	13	17		91	8	49	5	62	7	62	2	831	70	
中国	5	0	57	5	50	2	21	2	108	6	90	7	153	13	56	5	135	16	25	0	119	11	62	6	83	10	82	3	1046	86	
徳島県																													0	0	
香川県									5				1				1		1		4	1					1		13	1	
愛媛県			1		1				1		3	1	5	1	2		6	1					2		1		3		25	3	
高知県																	1												1	0	
四国	0	0	1	0	1	0	0	0	6	0	3	1	6	1	2	0	8	1	1	0	4	1	2	0	1	0	4	0	39	4	
福岡県	53	6	1093	87	993	97	472	38	2332	138	1724	150	2036	162	1182	89	1919	241	784	62	984	86	994	95	948	98	1554	159	17068	1508	
佐賀県	2		82	7	86	9	26	3	111	7	103	5	183	25	56	3	107	10	34	4	111	4	36	6	42	1	103	7	1082	91	
長崎県	6	1	38	3	32		4		53	3	52	4	125	7	41	7	88	7	19	2	58	2	26	3	40	5	51	1	633	45	
熊本県	10	2	65	3	74	4	31	4	121	8	105	4	198	16	64	3	202	22	63	3	130	7	58	9	55	1	112	12	1288	98	
大分県			26	3	25	2	6	3	50	4	57	9	96	10	35	4	59	7	19	1	53	6	14	2	14		29	6	483	57	
宮崎県			23	2	17		10	2	28	1	17	2	53	3	21	2	45	8	11	2	27	1	18		30		25	5	325	28	
鹿児島県	2	1	32	4	22	2	14	3	39	3	50	2	60	5	30	9	83	8	33	3	33	3	28	2	33	2	39	3	498	50	
沖縄県	2	1	2						5	2	2	1	5				3				2		3		1				26	4	
福岡以外の九州	22	5	268	22	256	17	91	15	407	28	386	27	720	66	250	28	585	62	179	15	414	23	183	22	215	9	359	34	4335	373	
合計	83	11	1423	114	1305	116	590	55	2868	172	2211	186	2931	243	1494	122	2667	321	1001	78	1533	123	1254	124	1265	118	2005	196	22630	1979	

福岡県内高校卒業生
累計(2012-2016)
志願者 入学者

志願者・入学者
累計(2012-2016)
志願者 入学者

【資料9-⑤】

最近5年間の都道府県別進学状況(平成27年度)

都道府県名	神学科		英文学科		英語専攻		フランス語専攻		商学科		経営学科		経済学科		国際経済学科		法律学科		国際関係法学科		児童教育学科		社会福祉学科		心理学科		国際文化学科		合計		
	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	
北海道														1		2		2				2				1			8	0	
青森県																														0	0
岩手県																														0	0
宮城県																														0	0
秋田県																														0	0
山形県					1																						4	1	5	1	
福島県																														0	0
北海道・東北	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	4	1	13	1
茨城県																														0	0
栃木県									1		1						2	1											4	1	
群馬県																														0	0
埼玉県									2	1	1		2														2		7	1	
千葉県			1		2				4		1		1		3		2					2		5					21	0	
東京都			1		7		4		4		3		2		3		2		1		1		5		2		4	1	39	1	
神奈川県	2								2				1		2		2		1		2		2		3	1	2	1	19	2	
関東	2	0	2	0	9	0	4	0	13	1	6	0	6	0	8	0	8	1	2	0	5	0	12	0	5	1	8	2	90	5	
新潟県																						2								2	0
富山県																														0	0
石川県																														0	0
福井県																														0	0
山梨県																														0	0
長野県					1																							1		2	0
北陸・甲信越	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	4	0	
岐阜県									1		1		2				1		1						1				7	0	
静岡県			1										1		2													2		6	0
愛知県									1		1		2		1								3		1		6		15	0	
三重県																														0	0
東海	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	5	0	3	0	1	0	1	0	0	0	4	0	1	0	8	0	28	0	
滋賀県																														0	0
京都府	1		1		1				2		1																1		7	0	
大阪府			1																								1		2	0	
兵庫県			1	1	3	1			1		2		2		1						7							17	2		
奈良県																	2												2	0	
和歌山県			2		2																								4	0	
近畿	1	0	5	1	6	1	0	0	3	0	3	0	2	0	1	0	2	0	0	0	7	0	0	0	0	0	2	0	32	2	
鳥取県													2				1	1											3	1	
島根県	1	1			1							1									3		2	1				8	2		
岡山県								1		1		1				1	1	1			2		1			4	1	12	2		
広島県	1		7		10		1	16		18	1	21	1	19	1	17	1	7			4		5		15	1	9	150	5		
山口県	2		49	2	39	1	10	1	65	4	43	5	115	4	42	3	105	9	12	2	97	7	33	3	32	2	66	4	710	47	
中国	4	1	56	2	50	1	11	1	82	4	62	6	140	5	61	4	124	12	20	2	106	7	41	4	47	3	79	5	883	57	
徳島県																					1								1	0	
香川県											4		3	1	6						2				3		7		25	1	
愛媛県					4								9	2	5		5	1					6	1			3		32	4	
高知県													2	1	1		1												4	1	
四国	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4	0	14	4	12	0	6	1	0	0	3	0	6	1	3	0	10	0	62	6	
福岡県	63	5	894	86	918	86	520	54	1917	151	1207	131	1653	187	1123	70	1623	251	488	75	822	77	1066	115	894	84	1624	121	14812	1493	
佐賀県	2	1	77	3	78	6	27	5	100	8	62	12	123	18	67	5	82	14	31	4	107	10	51	5	53	5	117	9	977	105	
長崎県	5		18		34	1	5		33	4	33	3	78	15	28	1	61	2	10	1	43	4	28	5	23	1	38	9	437	46	
熊本県	4	3	57	6	62	6	29	3	70	6	98	17	130	13	65	11	165	20	39	6	105	8	55	6	61	5	131	9	1071	119	
大分県			57	4	39		11		33	3	27	6	87	6	35	3	72	10	6	1	48	5	29	3	36	2	33	3	513	46	
宮崎県			10	1	21	1	6	2	22	2	18	7	36	3	13	2	30	7	2	1	23	4	17	2	11		23	4	232	36	
鹿児島県	1		40	4	47	4	22	1	36	6	23	3	54	6	28	2	59	9	6	2	56	3	29	2	33	7	40	4	474	53	
沖縄県			1		3	1	1	1	2	1	2		1		1		5	1							4		1		22	4	
福岡以外の九州	12	4	260	18	284	19	101	12	296	30	263	48	509	61	237	24	474	63	94	15	383	34	209	23	221	20	383	38	3726	409	
合計	82	10	1218	107	1273	107	636	67	2313	186	1547	185	2330	257	1447	98	2240	328	605	92	1330	118	1338	143	1172	108	2119	167	19650	1973	

最近5年間の都道府県別進学状況(平成26年度)

都道府県名	神学科		英文学科		英語専攻		フランス語専攻		商学科		経営学科		経済学科		国際経済学科		法律学科		国際関係法学科		児童教育学科		社会福祉学科		心理学科		国際文化学科		合計			
	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者		
北海道											1		1		1							1					1		5	0		
青森県																														0	0	
岩手県																														0	0	
宮城県																							1		1		1		2		5	0
秋田県																															0	0
山形県														1												1		3		5	0	
福島県																															0	0
北海道・東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	2	0	6	0	15	0	
茨城県			1		1										1															3	0	
栃木県										1					1					2		2		2		1				9	0	
群馬県																														0	0	
埼玉県																														0	0	
千葉県											1											3		5						9	0	
東京都	1		3	1	1		2		1		2				1		1		1							3		16	1			
神奈川県	1	1													1												1		3	1		
関東	2	1	4	1	2	0	2	0	1	0	4	0	0	0	4	0	1	0	3	0	5	0	7	0	1	0	4	0	40	2		
新潟県																										1				1	0	
富山県																						1								1	0	
石川県						5							1	1								1							7	1		
福井県																														0	0	
山梨県																		1												1	0	
長野県																														0	0	
北陸・甲信越	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	10	1		
岐阜県																						3								3	0	
静岡県									1		1																			2	0	
愛知県	2												3		1		1										1		8	0		
三重県										3		2																		5	0	
東海	2	0	0	0	0	0	0	0	4	0	3	0	3	0	1	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	18	0	
滋賀県																									1					1	0	
京都府	1								1																					4	0	
大阪府									2							1												2		6	0	
兵庫県			2		1				1		1				1															6	0	
奈良県																															0	0
和歌山県			5		2		2																							9	0	
近畿	1	0	7	0	3	0	2	0	4	0	1	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3	0	26	0		
鳥取県																														0	0	
島根県											3																			9	0	
岡山県	2												1		1							1		2		4	1	1		12	1	
広島県	1	1	6		6	1	3		26	1	19	1	24	2	9		20	2	9	1	21				4	9	1	9		166	10	
山口県	2		36	3	56	1	19	2	67	2	61	4	143	9	43	1	102	7	14	2	94	1	65	3	52	3	55	3	809	41		
中国	5	1	42	3	62	2	22	2	93	3	83	5	170	11	53	1	124	9	23	3	116	1	71	3	65	5	67	3	996	52		
徳島県																															0	0
香川県					4										4		3								1			5	1	19	1	
愛媛県									1		1				1	1						2		3				1		10	1	
高知県																														0	0	
四国	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	1	0	1	0	5	1	3	0	0	0	2	0	4	0	2	0	6	1	29	2		
福岡県	62	3	972	87	983	89	430	48	1791	132	1419	107	1743	163	1131	100	1462	226	411	85	1034	67	1152	79	806	100	1585	114	14981	1400		
佐賀県	2		66	5	68	5	33	4	116	4	92	7	183	10	83	8	151	14	24	4	96	8	52	6	90	9	159	14	1215	98		
長崎県	8		33	4	29		6		33	2	47	6	106	3	46	4	60	8	8		52	2	33	7	25	2	57	6	543	44		
熊本県	5	1	81	4	84	6	40	6	123	8	100	8	117	6	84	9	161	16	21	2	190	8	63	5	69	4	136	13	1274	96		
大分県	3		29	2	39	4	15	2	44	8	40	5	91	9	24		65	8	6	1	42	5	35	2	28	2	34	2	495	50		
宮崎県			13	4	16	1	5	1	18	3	15	1	39	4	15	1	36	3	9	2	43	5	18	5	23	1	33	4	283	35		
鹿児島県	1		40	3	27	2	11		54	2	44	4	96	9	48	8	36	5	10		58	2	27	3	33	2	57	4	542	44		
沖縄県	2	1	2		2				3		5	2	2		2		7	3			1	1					6		32	7		
福岡以外の九州	21	2	264	22	265	18	110	13	391	27	343	33	634	41	302	30	516	57	78	9	482	31	228	28	268	20	482	43	4384	374		
合計	93	7	1289	113	1319	109	571	63	2285	162	1855	145	2555	216	1499	132	2108	292	516	97	1646	99	1464	110	1145	125	2154	161	20499	1831		

最近5年間の都道府県別進学状況(平成25年度)

都道府県名	神学科		英文学科		英語専攻		フランス語専攻		商学科		経営学科		経済学科		国際経済学科		法律学科		国際関係法学科		児童教育学科		社会福祉学科		心理学科		国際文化学科		合計		
	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	
北海道			3		2																	2							7	0	
青森県																														0	0
岩手県																														0	0
宮城県																														0	0
秋田県																														0	0
山形県																														0	0
福島県																							2							2	0
北海道・東北	0	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	9	0	
茨城県																														1	0
栃木県															2										1		2			5	0
群馬県							1															1								2	0
埼玉県																														0	0
千葉県					1				1		1		2		1						1					1	1	3		11	1
東京都					1				1		1		1		1		2	1							1	1	9		16	2	
神奈川県						1			2		1		2		2		3		1					1				1	13	1	
関東	0	0	0	0	1	0	2	0	4	0	3	0	5	0	6	0	5	1	2	0	1	0	2	0	5	2	12	1	48	4	
新潟県																														0	0
富山県																														0	0
石川県																														0	0
福井県																														0	0
山梨県																														0	0
長野県																											1			1	0
北陸・甲信越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	
岐阜県																		1												1	0
静岡県																												2		2	0
愛知県	2																						1	3	1	1		2		9	1
三重県	1		1			1			1		1		1									4		2	2				14	0	
東海	3	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	5	0	5	1	3	0	4	0	26	1
滋賀県																														0	0
京都府			1		5		3	1									2		2							1				14	1
大阪府													1				3					3								7	0
兵庫県													1			1						3		2	1					7	1
奈良県																														0	0
和歌山県																														0	0
近畿	0	0	1	0	5	0	3	1	0	0	0	0	2	0	1	0	5	0	2	0	6	0	2	1	1	0	0	0	28	2	
鳥取県																						2								2	0
島根県	1	1															2					2							5	1	
岡山県									2		3		2		2							10		1			2			22	0
広島県	2		13	2	21		4		15	2	25	2	31		10		30	5	3	2	17	1	21	2	18	2	15	1	225	19	
山口県	4		43	2	37	1	16	2	78	4	57	4	144	14	45	4	101	5	10	2	113	4	53	9	54	4	56	8	811	63	
中国	7	1	56	4	58	1	20	2	95	6	85	6	177	14	57	4	133	10	15	4	142	5	75	11	72	6	73	9	1065	83	
徳島県																														0	0
香川県	1								1				2		3		2	1	2	1	4				2				17	2	
愛媛県			2		3		3	1	4	1	3		1		2		3							1	1				22	3	
高知県																												1	1	1	1
四国	1	0	2	0	3	0	3	1	5	1	3	0	3	0	5	0	5	1	2	1	4	0	1	1	2	0	1	1	40	6	
福岡県	71	2	936	90	1018	101	526	41	1917	150	1480	138	1836	154	1139	94	1785	231	356	78	1033	89	1200	124	1022	65	1511	158	15830	1515	
佐賀県	3		45	4	50	4	30	3	157	10	104	11	154	9	85	3	175	19	37	4	112	10	47	5	83	3	116	10	1198	95	
長崎県	4		34	4	53	4	8		54	5	33	4	84	7	25	1	63	8	15	3	81	4	26	5	27	1	60		567	46	
熊本県	14	2	112	7	122	4	40	2	118	6	103	14	167	18	113	8	203	24	39	3	198	8	100	12	110	6	92	11	1531	125	
大分県	1		41	4	49	4	28	4	36	6	30	2	99	7	37	2	88	10	7		57	3	42	4	35	1	36	5	586	52	
宮崎県			27	4	23	2	11	1	17	1	25	5	49	6	17	4	40	7	5	1	43	4	28	3	31	2	24	3	340	43	
鹿児島県	1		23	3	38		23	1	21	1	28	4	53	7	21	6	65	6	6	2	82	4	30	3	45	1	57	8	493	46	
沖縄県			3		5	1						2					4				1	1							15	2	
福岡以外の九州	23	2	285	26	340	19	140	11	403	29	323	40	608	54	298	24	638	74	109	13	574	34	273	32	331	14	385	37	4730	409	
合計	105	5	1284	120	1427	121	695	56	2425	186	1895	184	2632	222	1506	122	2572	317	486	96	1769	128	1558	170	1437	87	1986	206	21777	2020	

最近5年間の都道府県別進学状況(平成24年度)

都道府県名	神学科		英文学科		英語専攻		フランス語専攻		商学科		経営学科		経済学科		国際経済学科		法律学科		国際関係法学科		児童教育学科		社会福祉学科		心理学科		国際文化学科		合計		
	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	
北海道													1	1															1	1	
青森県													1																	1	0
岩手県													1																	0	0
宮城県									1		1					1					1						2	1	8	1	
秋田県																														0	0
山形県																														0	0
福島県																														0	0
北海道・東北	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	10	2
茨城県																														1	0
栃木県																	2													2	0
群馬県																				1										1	0
埼玉県			2		2				1		1		1		1												1		9	0	
千葉県			2		1				4	1	2									1						2	1	7	19	2	
東京都					2				3		2		5		1		2	1			5	1	1						21	2	
神奈川県												1																	1	0	
関東	0	0	4	0	5	0	0	0	8	1	5	0	7	0	2	0	4	1	2	0	5	1	1	0	3	1	8	0	54	4	
新潟県																														0	0
富山県							1																							1	0
石川県	1	1																											1	1	
福井県																														0	0
山梨県									5		6						1												12	0	
長野県																														0	0
北陸・甲信越	1	1	0	0	0	0	1	0	5	0	6	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	1	
岐阜県											2		2				2		1		1								1	9	0
静岡県																														0	0
愛知県									3		5	1	3							1					1		1		15	1	
三重県						3					1										2	1	2						1	9	1
東海	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0	8	1	5	0	0	0	2	0	2	0	3	1	3	0	1	0	3	0	33	2	
滋賀県				1																	2								2	5	0
京都府	1		1											2		2													1	7	0
大阪府							1		1	1	5		1				2									4			14	1	
兵庫県					1				3		4					2	1			1	1	4				2		4	21	2	
奈良県																														0	0
和歌山県																														0	0
近畿	1	0	2	0	1	0	1	0	4	1	9	0	3	0	4	1	2	0	1	1	6	0	0	0	6	0	7	0	47	3	
鳥取県																														3	0
島根県													5				6		1						1	1				13	1
岡山県					1				4		4		6		5		1				2						1	1	24	1	
広島県			12	2	20		4	1	22	1	30	1	28	1	8		19			2	29	1	26		13	1	21	2	234	10	
山口県	1		56	2	60	1	14		83	6	80	7	142	8	58	2	85	6	13	2	113	3	68	3	43	7	93	3	909	50	
中国	1	0	68	4	81	1	18	1	109	7	114	8	181	9	77	2	106	6	15	2	144	4	98	4	56	8	115	6	1183	62	
徳島県							1	1					2				4	1											6	2	
香川県			3		4				3				2		2				2		6							3	26	0	
愛媛県					1		4	1			2	1	5	1							6			3		2		1	24	3	
高知県																													2	0	0
四国	0	0	3	0	5	0	5	2	3	0	4	1	8	1	2	0	5	1	0	0	12	0	5	0	2	0	4	0	58	5	
福岡県	53	15	772	89	868	94	360	48	1907	134	1684	124	1698	180	1035	76	1369	237	442	74	980	70	1323	70	755	100	1622	123	14868	1434	
佐賀県	1		59	9	74	8	11	3	91	4	74	6	137	9	59	2	151	24	28	4	113	9	90	12	47	11	100	11	1035	112	
長崎県			36	2	34	2	13		39	3	52	2	83	11	31	4	52	12	17	1	61	3	31	5	23	2	43	7	515	54	
熊本県	3		73	7	103	3	21	2	138	9	159	9	171	8	88	9	159	18	40	2	163	11	114	14	53	5	140	10	1425	107	
大分県			39	6	39	2	11		31	2	40	4	105	11	18		65	8	3		64	6	38		30	3	39	4	522	46	
宮崎県			11	3	13		4		20	2	21	2	42	6	16	5	35	6	9	1	38	3	31	4	25	2	33	3	298	37	
鹿児島県	2		38	2	57	2	17	1	28	3	44	5	57	6	17	1	47	9	10	3	55	3	25	6	31	5	59	6	487	52	
沖縄県			1	1	1				4	1	4		9	1	5		11	2			5	2							4	1	7
福岡以外の九州	6	0	257	30	321	17	77	6	351	24	394	28	604	52	234	21	520	79	107	11	499	37	329	41	210	28	414	41	4323	415	
合計	62	16	1106	123	1284	112	462	57	2391	167	2225	162	2509	243	1355	100	2009	324	570	88	1649	113	1760	115	1033	137	2175	171	20590	1928	

韓国1名

韓国1名 韓国1名

西南学院大学
入学定員増に関するニーズ調査
結果報告書
【高校生対象調査】

抜粋版

平成28年5月
株式会社 進研アド

高校生対象 調査概要

1. 調査目的

2017年4月の「西南学院大学 6学部10学科2専攻の入学定員増」構想に対して、高校生のニーズを把握する。

2. 調査概要

		高校生対象調査
調査対象		高校2年生
調査エリア		山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
調査方法		高校留置き調査
調査対象数	依頼数	22,906人 (153校)
	回収数 (回収率)	17,529人 (147校) (76.5%)
調査時期		2016年2月12日(金)～2016年3月18日(金)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

高校生対象調査
<ul style="list-style-type: none">・性別・高校種別・高校所在地・所属クラス・高校卒業後の希望進路・興味のある学問系統・西南学院大学の学科・専攻の特色魅力度・西南学院大学への受験意向・西南学院大学への入学意向【第一希望】・西南学院大学への入学意向【第二希望】

高校生対象 調査結果まとめ

西南学院大学への受験意向

- 西南学院大学を「受験したいと思う」と答えた人は36.0% (6,312人)である。

西南学院大学への入学意向(第一希望)

- 西南学院大学を「受験したいと思う」と答えた6,312人のうち、西南学院大学を受験して合格したら、第一希望で入学したい学科・専攻の結果は、以下の通り。

文学部 英文学科 : 7.8%(493人)

文学部 外国語学科(英語専攻) : 10.5%(662人)

文学部 外国語学科(フランス語専攻) : 1.0%(62人)

商学部 商学科 : 7.4%(465人)

商学部 経営学科 : 5.0%(316人)

経済学部 経済学科 : 15.6%(984人)

経済学部 国際経済学科 : 2.8%(175人)

法学部 法律学科 : 12.3%(776人)

法学部 国際関係法学科 : 1.9%(121人)

人間科学部 心理学科 : 10.2%(642人)

国際文化学部 国際文化学科 : 8.5%(537人)

- 全ての学科・専攻において、予定している入学定員(「英文学科」120人、「外国語学科(英語専攻)」120人、「外国語学科(フランス語専攻)」60人、「商学科」180人、「経営学科」180人、「経済学科」240人、「国際経済学科」120人、「法律学科」315人、「国際関係法学科」95人、「心理学科」120人、「国際文化学科」180人)を上回っている。

高校生対象 調査結果まとめ

西南学院大学への入学意向(第二希望)

- 西南学院大学を「受験したいと思う」と答えた6,312人のうち、西南学院大学を受験して合格したら、第二希望で入学したい学科・専攻の結果は、以下の通り。

文学部 英文学科 : 9.6%(608人)

文学部 外国語学科(英語専攻) : 8.9%(560人)

文学部 外国語学科(フランス語専攻) : 2.0%(127人)

商学部 商学科 : 9.4%(593人)

商学部 経営学科 : 7.9%(496人)

経済学部 経済学科 : 11.3%(711人)

経済学部 国際経済学科 : 5.1%(323人)

法学部 法律学科 : 6.3%(399人)

法学部 国際関係法学科 : 4.8%(300人)

人間科学部 心理学科 : 10.1%(639人)

国際文化学部 国際文化学科 : 7.4%(468人)

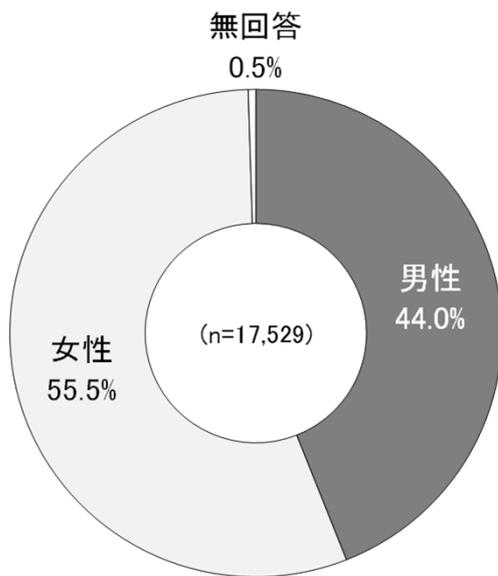
- 第一希望と第二希望を合わせると、全ての学科・専攻において予定している入学定員数を3倍以上上回る入学意向者がみられた。

高校生対象 調査結果

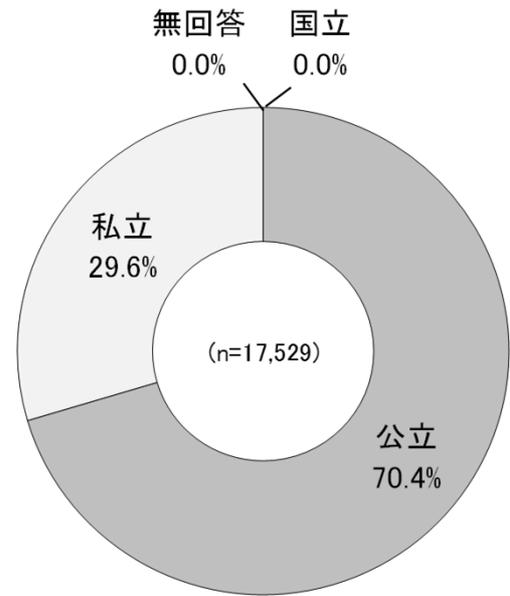


回答者の属性(性別／高校種別／高校所在地／所属クラス)

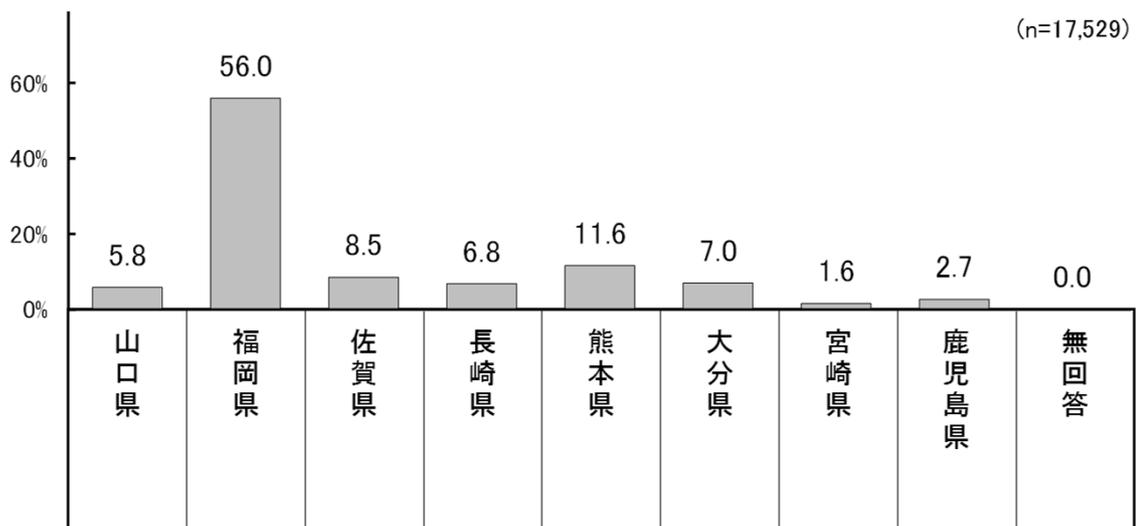
■性別



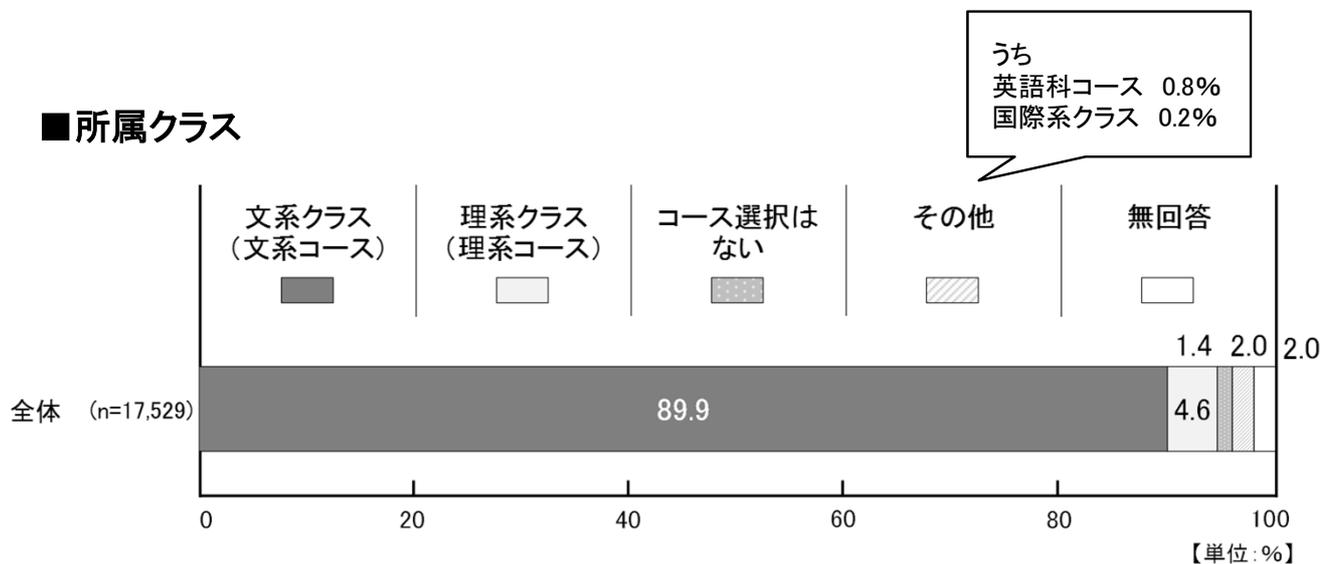
■高校種別



■高校所在地



■所属クラス

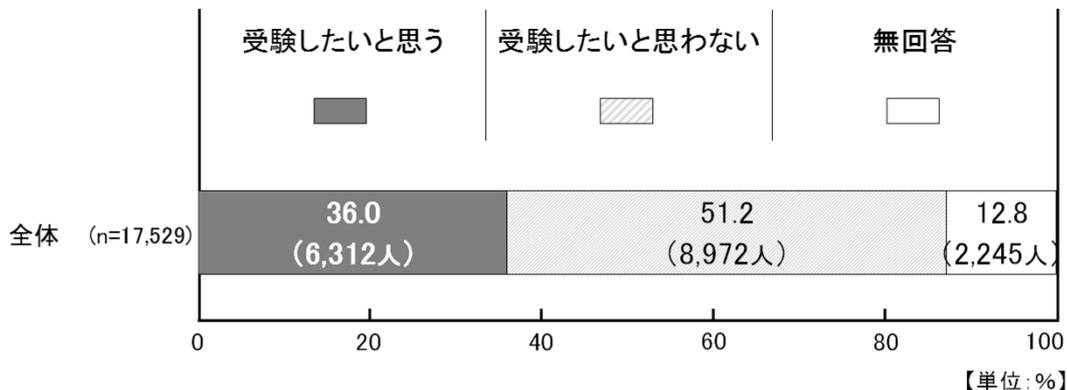


※その他=「その他」「英語科コース」「国際系クラス」と回答した人の合計値

西南学院大学への受験意向／ 西南学院大学への入学意向【第一希望】(受験意向者ベース)

■西南学院大学への受験意向

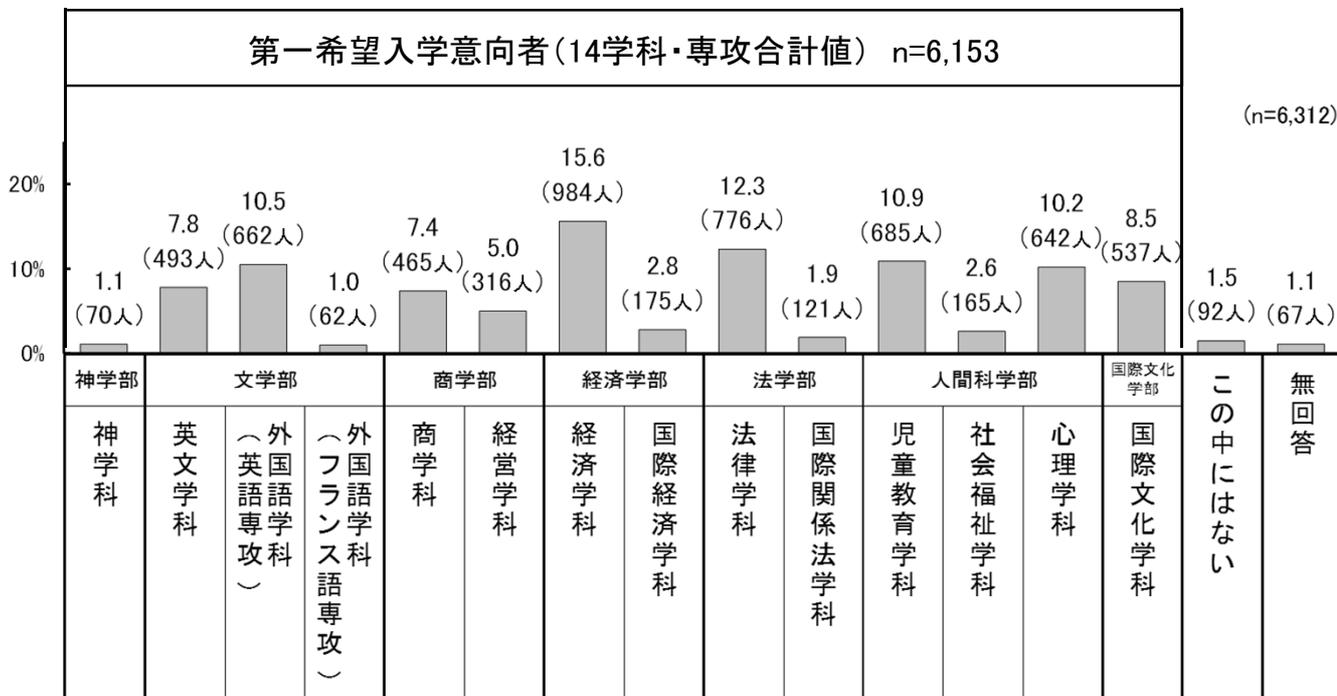
Q4. あなたは、西南学院大学を受験してみたいと思いますか。
あなたの気持ちに一番近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



※Q4 西南学院大学を「受験したいと思う」と答えた6,312人のみ抽出

■西南学院大学への入学意向【第一希望】(受験意向者ベース)

Q5-1. あなたは、西南学院大学を受験して合格したら、どの学科・専攻に入学したいと思いますか。
(入学したい学科がない場合は、「この中にはない」に○をつけてください)

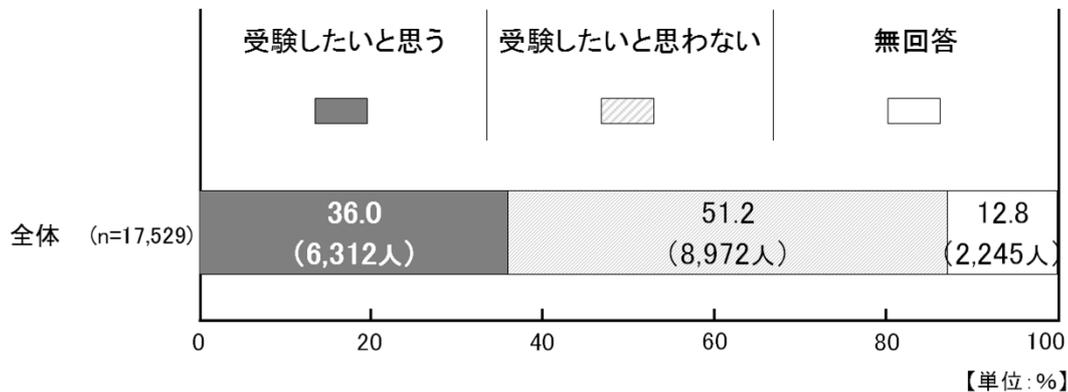


※複数回答の場合は、無回答として処理

西南学院大学への受験意向／ 西南学院大学への入学意向【第二希望】(受験意向者ベース)

■西南学院大学への受験意向

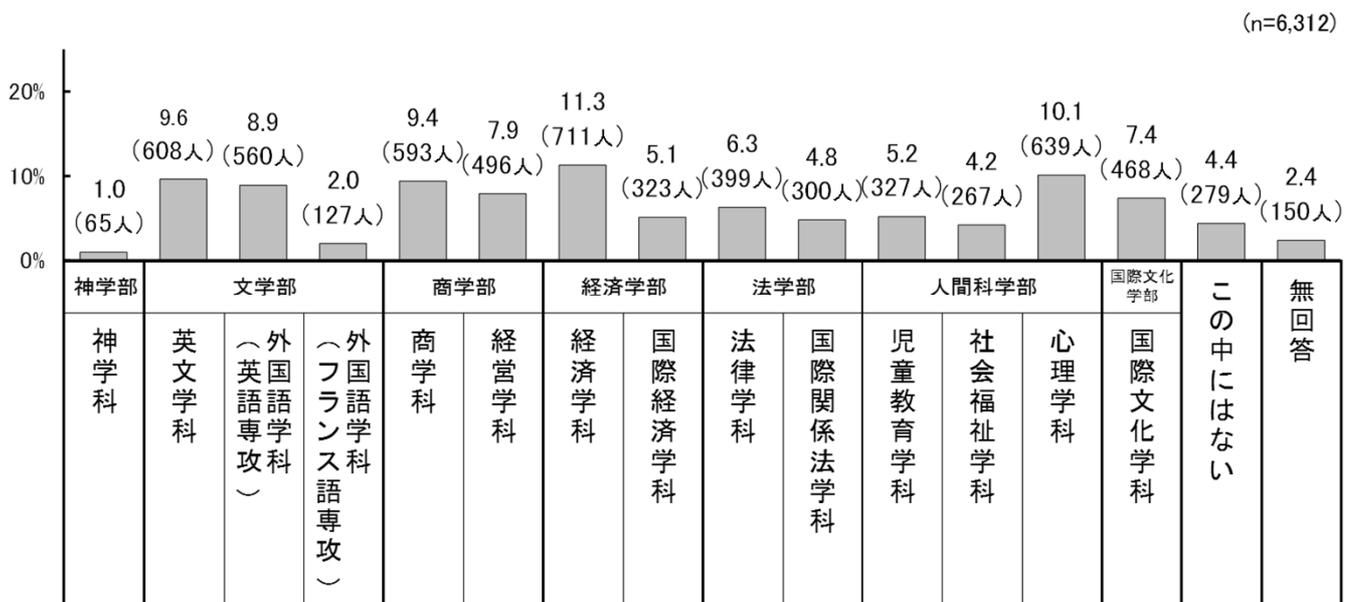
Q4. あなたは、西南学院大学を受験してみたいと思いますか。
あなたの気持ちに一番近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



※Q4 西南学院大学を「受験したいと思う」と答えた6,312人のみ抽出

■西南学院大学への入学意向【第二希望】(受験意向者ベース)

Q5-2. あなたは、西南学院大学を受験して合格したら、どの学科・専攻に入学したいと思いますか。
第二希望まで教えて下さい。
(入学したい学科がない場合は、「この中にはない」に○をつけてください)



※複数回答の場合は、無回答として処理

卷末資料 調查票



高校生対象 調査票

◆ここからは西南学院大学についてお聞きします。

西南学院大学では、現在高校2年生のみなさんが大学生となる2017年(平成29年)4月に、既存の7学部13学科2専攻のうち、「6学部10学科2専攻」の入学定員を増やすことを計画しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料を見てからお答えください ※

Q3. 西南学院大学の以下の学科・専攻には、次のような特色があります。

それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。

		とても 魅力を 感じる	ある程度 魅力を 感じる	あまり 魅力を 感じない	まったく 魅力を 感じない
	例. ○○である。	→ 1	→ ②	→ 3	→ 4
文学部	【英文学科】 A. 英語の4つの技能—話す、聞く、読む、書く—全般の能力を強化し、同時に英語圏の文学・文化・思想を学ぶことで、グローバル化時代に活躍できる能力が身に付きます。	→ 1	→ 2	→ 3	→ 4
	【外国語学科 英語専攻】 B. 「少人数クラスにおけるディスカッション」、「授業時間外での学生と教員のコミュニケーション」を重視したカリキュラムにより、実践的英語力が身に付き、国際社会で活躍することができます。	→ 1	→ 2	→ 3	→ 4
	【外国語学科 フランス語専攻】 C. 国連やEUの公用語であるフランス語の習得に加え、フランス文化・社会を多面的に学ぶことにより、英語とは異なる新しいことばで世界をみる楽しさを体験し、国際社会で活用することができます。	→ 1	→ 2	→ 3	→ 4
商学部	【商学科】 D. ビジネスにおいて重要な「物流」「金融」「会計」を専門的に学ぶほか、問題解決力や他者との議論の仕方など人間性・社会性も身に付き、社会で活躍することができます。	→ 1	→ 2	→ 3	→ 4
	【経営学科】 E. インターネットの活用法から高度な経営分析まで、経営における情報の捉え方や扱い方を多面的な観点から学ぶことができます。また、ビジネス社会に役立つ情報処理能力も養うことができます。	→ 1	→ 2	→ 3	→ 4
経済学部	【経済学科】 F. データの分析方法を基礎に置き、経済の基礎的理論から歴史や政策まで幅広く学修することで、複雑に入り組んだ経済社会の中で自分なりの対処法や見解を打ち出す力が身に付きます。	→ 1	→ 2	→ 3	→ 4
	【国際経済学科】 G. 各国・地域の経済事情や経済の仕組みを学ぶと同時に、諸外国との交流に役立つ語学力を身に付けることで、グローバル経済に貢献できる力が身に付きます。	→ 1	→ 2	→ 3	→ 4

高校生対象 調査票

Q6. 西南学院大学について、もっと知りたいことやご意見・ご要望など、どのようなことでもかまいませんので、ご自由にお書きください。

*** 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。***

最近5年間の求人件数等の状況

※平成26年度以降は前期卒業者を含む

区分	項目	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	5ヶ年平均
神学部 神学科	卒業生数	14	11	10	12	10	11.4
	希望者数	11	3	1	4	3	4.4
	求人件数	-	-	-	-	-	-
	就職者数	8	3	1	3	3	3.6
	求人倍率	-	-	-	-	-	-
	就職率	72.7%	100%	100%	75%	100%	89.5%
文学部 英文学科	卒業生数	114	91	104	122	114	109
	希望者数	95	77	88	94	84	87.6
	求人件数	-	-	-	-	-	-
	就職者数	90	76	86	89	76	83.4
	求人倍率	-	-	-	-	-	-
	就職率	94.7%	98.7%	97.7%	94.7%	90.5%	95.3%
文学部 外国語学科 英語専攻	卒業生数	116	111	107	109	108	110.2
	希望者数	91	90	90	88	84	88.6
	求人件数	-	-	-	-	-	-
	就職者数	86	87	85	86	73	83.4
	求人倍率	-	-	-	-	-	-
	就職率	94.5%	96.7%	94.4%	97.7%	86.9%	94.0%
文学部 外国語学科 フランス語専攻	卒業生数	55	57	46	49	60	53.4
	希望者数	47	47	39	33	49	43
	求人件数	-	-	-	-	-	-
	就職者数	43	47	36	30	40	39.2
	求人倍率	-	-	-	-	-	-
	就職率	91.5%	100%	92.3%	90.9%	81.6%	91.3%
商学部 商学科	卒業生数	172	155	165	160	161	162.6
	希望者数	154	134	149	128	135	140
	求人件数	-	-	-	-	-	-
	就職者数	154	131	141	121	122	133.8
	求人倍率	-	-	-	-	-	-
	就職率	100%	97.8%	94.6%	94.5%	90.4%	95.5%
商学部 経営学科	卒業生数	174	175	167	160	172	169.6
	希望者数	158	156	142	130	140	145.2
	求人件数	-	-	-	-	-	-
	就職者数	153	154	134	125	132	139.6
	求人倍率	-	-	-	-	-	-
	就職率	96.8%	98.7%	94.4%	96.2%	94.3%	96.1%
経済学部 経済学科	卒業生数	235	197	228	218	243	224.2
	希望者数	210	168	188	174	185	185
	求人件数	-	-	-	-	-	-
	就職者数	201	165	177	165	167	175
	求人倍率	-	-	-	-	-	-
	就職率	95.7%	98.2%	94.1%	94.8%	90.3%	94.6%

最近5年間の求人件数等の状況

※平成26年度以降は前期卒業者を含む

区 分	項 目	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	5ヶ年平均
経済学部 国際経済学科	卒業生数	92	110	109	113	101	105
	希望者数	78	93	88	94	87	88
	求人件数	-	-	-	-	-	-
	就職者数	78	92	86	90	77	84.6
	求人倍率	-	-	-	-	-	-
	就 職 率	100%	98.9%	97.7%	95.7%	88.5%	96.2%
法学部 法律学科	卒業生数	337	299	268	287	311	300.4
	希望者数	285	240	208	200	227	232
	求人件数	-	-	-	-	-	-
	就職者数	266	234	198	168	199	213
	求人倍率	-	-	-	-	-	-
	就 職 率	93.3%	97.5%	95.2%	84%	87.7%	91.5%
法学部 国際関係法学科	卒業生数	93	90	82	77	90	86.4
	希望者数	77	76	62	53	69	67.4
	求人件数	-	-	-	-	-	-
	就職者数	72	75	55	45	58	61
	求人倍率	-	-	-	-	-	-
	就 職 率	93.5%	98.7%	88.7%	84.9%	84.1%	90.0%
人間科学部 児童教育学科	卒業生数	118	127	95	111	110	112.2
	希望者数	107	102	87	81	89	93.2
	求人件数	-	-	-	-	-	-
	就職者数	102	99	79	71	87	87.6
	求人倍率	-	-	-	-	-	-
	就 職 率	95.3%	97.1%	90.8%	87.7%	97.8%	93.7%
人間科学部 社会福祉学科	卒業生数	115	168	155	177	158	154.6
	希望者数	107	155	133	151	115	132.2
	求人件数	-	-	-	-	-	-
	就職者数	101	148	119	127	102	119.4
	求人倍率	-	-	-	-	-	-
	就 職 率	94.4%	95.5%	89.5%	84.1%	88.7%	90.4%
人間科学部 心理学科	卒業生数	115	-	-	-	-	-
	希望者数	95	-	-	-	-	-
	求人件数	-	-	-	-	-	-
	就職者数	91	-	-	-	-	-
	求人倍率	-	-	-	-	-	-
	就 職 率	95.8%	-	-	-	-	95.8%
国際文化学部 国際文化学科	卒業生数	168	135	187	171	154	163
	希望者数	149	106	164	127	127	134.6
	求人件数	-	-	-	-	-	-
	就職者数	140	100	156	114	112	124.4
	求人倍率	-	-	-	-	-	-
	就 職 率	94%	94.3%	95.1%	89.8%	88.2%	92.3%
全学の合計	卒業生数	1,918	1,726	1,723	1,766	1,792	1,785
	希望者数	1,664	1,447	1,439	1,357	1,394	1,460
	求人件数	3,228	3,197	3,045	2,780	2,486	2,947
	就職者数	1,585	1,411	1,353	1,234	1,248	1,366
	求人倍率	1.94	2.21	2.12	2.05	1.78	2.02
	就 職 率	95.3%	97.5%	94%	90.9%	89.5%	93.6%

西南学院大学
入学定員増に関するニーズ調査
結果報告書
【企業対象調査】

抜粋版

平成28年5月
株式会社 進研アド

企業対象 調査概要

1. 調査目的

2017年4月の西南学院大学の入学定員増に対して、卒業生の就職先として想定される企業の人材ニーズを把握する。

2. 調査概要

		企業対象調査
調査対象		企業の採用担当者
調査エリア		北海道、宮城県、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、静岡県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、石川県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、高知県、大分県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	2,500社
	回収数(回収率)	435社(17.4%)
調査時期		2016年2月16日(火)～2016年4月5日(火)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

企業対象調査
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人事採用への関与度 ・ 本社所在地 ・ 勤務先の主な業種 ・ 従業員数 ・ 正規社員の平均採用人数 ・ 本年度の採用予定数 ・ 採用したい学問系統 ・ 西南学院大学の学科・専攻の特色必要度 ・ 各学科・専攻卒業生の採用意向 ・ 各学科・専攻卒業生の毎年の採用想定人数

企業対象 調査結果まとめ

回答企業の採用状況

- 回答企業の過去3か年の平均的な正規社員の採用人数は、「1名～5名未満」が24.4%で最も多い。次いで、「10名～20名未満」が20.7%、「5名～10名未満」が17.5%である。回答企業の平均的な正社員の採用人数を合計すると14,415人、1社あたり平均33.1人である。

西南学院大学の卒業生に対する採用意向

- 西南学院大学の各学科・専攻の卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業の割合は以下の通り。

文学部 英文学科：71.0%(309社)

文学部 外国語学科(英語専攻)：72.2%(314社)

文学部 外国語学科(フランス語専攻)：57.2%(249社)

商学部 商学科：89.9%(391社)

商学部 経営学科：88.3%(384社)

経済学部 経済学科：88.7%(386社)

経済学部 国際経済学科：81.4%(354社)

法学部 法律学科：79.8%(347社)

法学部 国際関係法学科：71.7%(312社)

人間科学部 心理学科：67.6%(294社)

国際文化学部 国際文化学科：70.1%(305社)

- 「採用したいと思う」と答えた企業の割合は、調査を行った全学科で平均すると、76.2%である。
- 回答企業の平均的な正規社員の採用人数の合計値14,415人に、西南学院大学の卒業生に対する採用意向の平均値をかけあわせると、10,984人である。

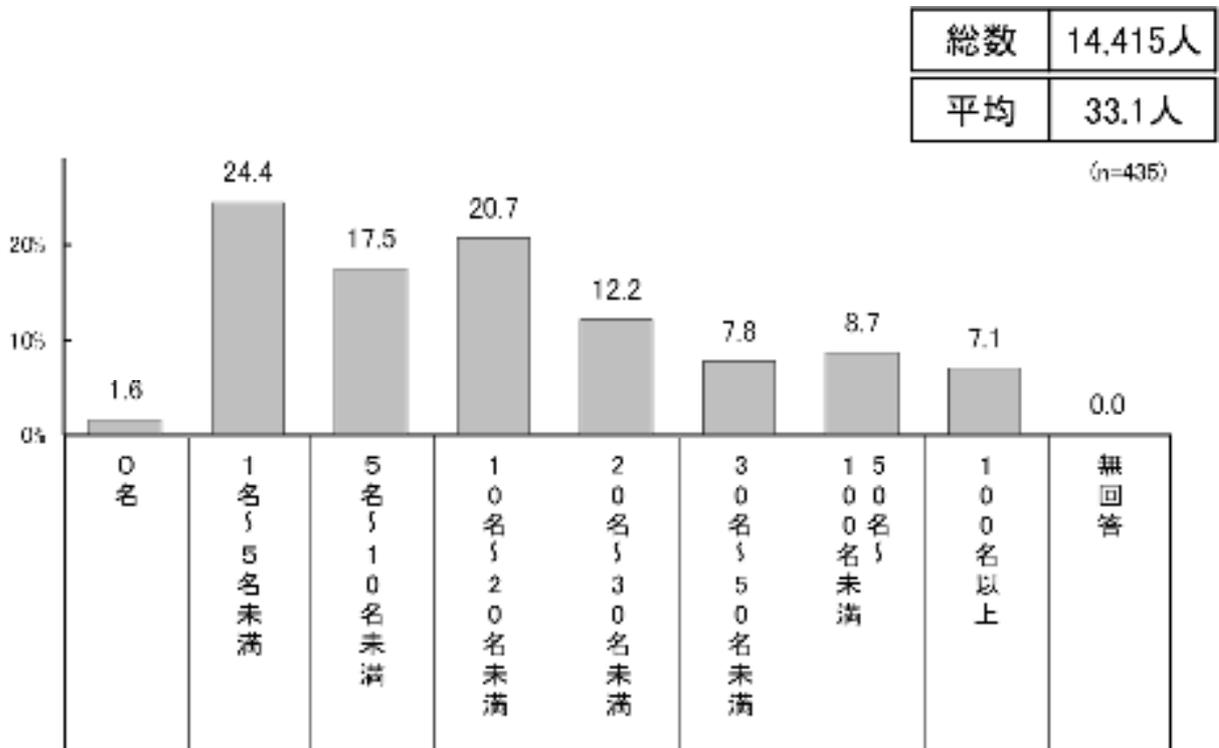
企業対象 調査結果



正規社員の平均採用人数／本年度の採用予定数

■正規社員の平均採用人数

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。

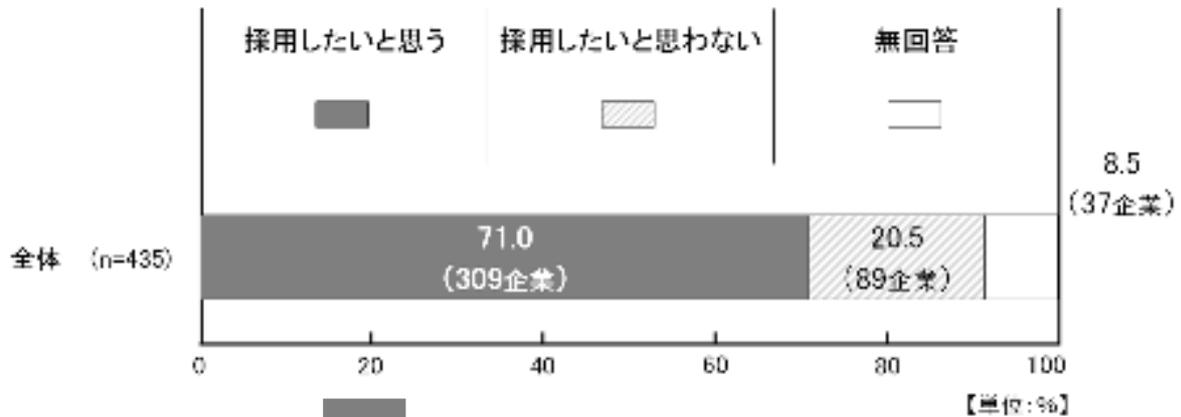


文学部 英文学科卒業生の採用意向／毎年の採用想定人数

■文学部 英文学科卒業生に対する採用意向

Q9. 貴社・貴団体では、西南学院大学の以下の学科・専攻を卒業した学生について、採用したいと思われますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。



「採用したいと思う」と答えた309企業のみ抽出

■文学部 英文学科卒業生の毎年の採用想定人数

Q10. Q9でいずれかの学科・専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
「1. 採用したいと思う」と回答された学科・専攻を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	人数は未確定	計※ 毎年の採用 想定人数・
		全体	309	%	18.4	2.6	2.3		
		名	57	8	7	0	5	0	227

⇒ 346

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名 を代入し合計値を算出



【参考】
※「人数は未確定」と答えた企業を除いた場合

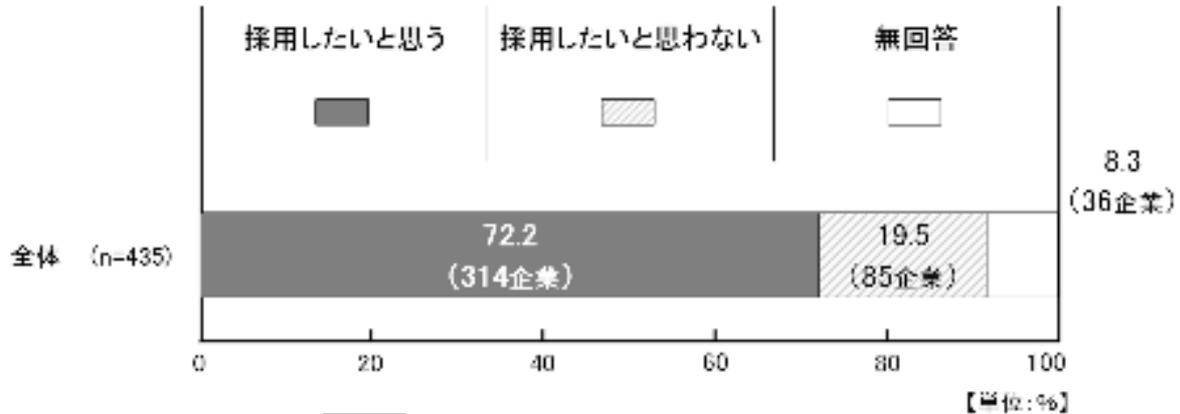
採用想定人数を示した企業数	77
採用想定人数の合計値	119

文学部 外国語学科英語専攻卒業生の採用意向／ 毎年の採用想定人数

■文学部 外国語学科英語専攻卒業生に対する採用意向

Q9. 貴社・貴団体では、西南学院大学の以下の学科・専攻を卒業した学生について、採用したいと思われますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。



「採用したいと思う」と答えた314企業のみ抽出

■文学部 外国語学科英語専攻卒業生の毎年の採用想定人数

Q10. Q9でいずれかの学科・専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

「1. 採用したいと思う」と回答された学科・専攻を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名以上	人数は未確定	計※ 毎年の採用想定人数・
		全体	314	% 18.5	2.5	2.5	0.3		
		名 58	8	8	1	5	0	227	

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名 を代入し合計値を算出



【参考】

※「人数は未確定」と答えた企業を除いた場合

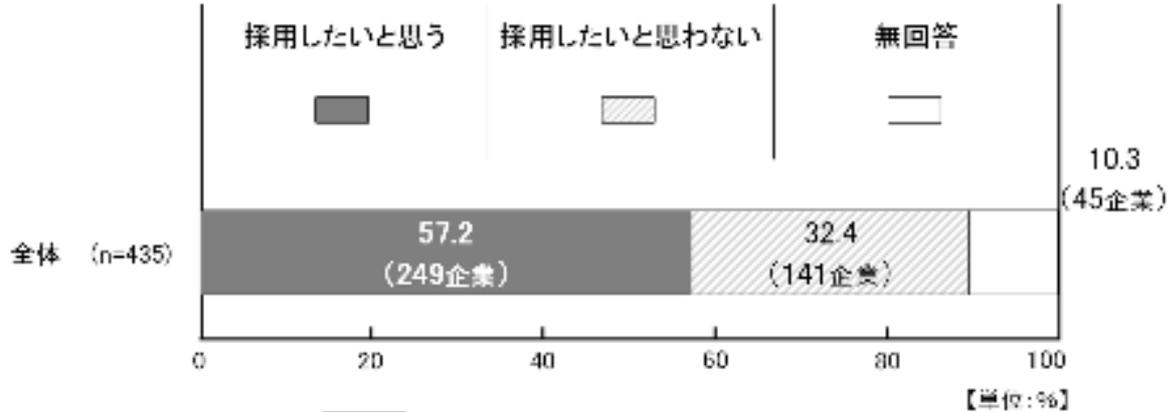
採用想定人数を示した企業数	80
採用想定人数の合計値	127

文学部 外国語学科フランス語専攻卒業生の採用意向／ 毎年の採用想定人数

■文学部 外国語学科フランス語専攻卒業生に対する採用意向

Q9. 貴社・貴団体では、西南学院大学の以下の学科・専攻を卒業した学生について、採用したいと思われますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。



「採用したいと思う」と答えた249企業のみ抽出

■文学部 外国語学科フランス語専攻卒業生の毎年の採用想定人数

Q10. Q9でいずれかの学科・専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

「1. 採用したいと思う」と回答された学科・専攻を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	人数は未確定	計※ 毎年の採用想定人数・
		全体	249	% 15.3	1.6	1.6	0.0		
		名 38	4	4	0	3	0	194	

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名 を代入し合計値を算出



【参考】

※「人数は未確定」と答えた企業を除いた場合

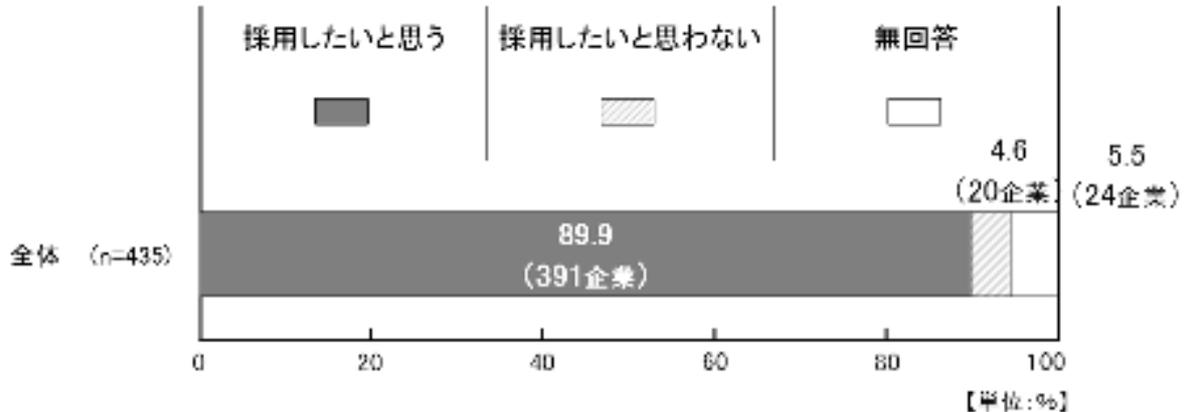
採用想定人数を示した企業数	49
採用想定人数の合計値	73

商学部 商学科卒業生の採用意向／毎年の採用想定人数

■商学部 商学科卒業生に対する採用意向

Q9. 貴社・貴団体では、西南学院大学の以下の学科・専攻を卒業した学生について、採用したいと思われますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。



「採用したいと思う」と答えた391企業のみ抽出

■商学部 商学科卒業生の毎年の採用想定人数

Q10. Q9でいずれかの学科・専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

「1. 採用したいと思う」と回答された学科・専攻を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	人数は未確定	計※ 毎年の採用 想定人数・
		全体	391	% 18.4	6.9	3.1	0.0		
		名 72	27	12	0	6	1	267	

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名 を代入し合計値を算出



【参考】

※「人数は未確定」と答えた企業を除いた場合

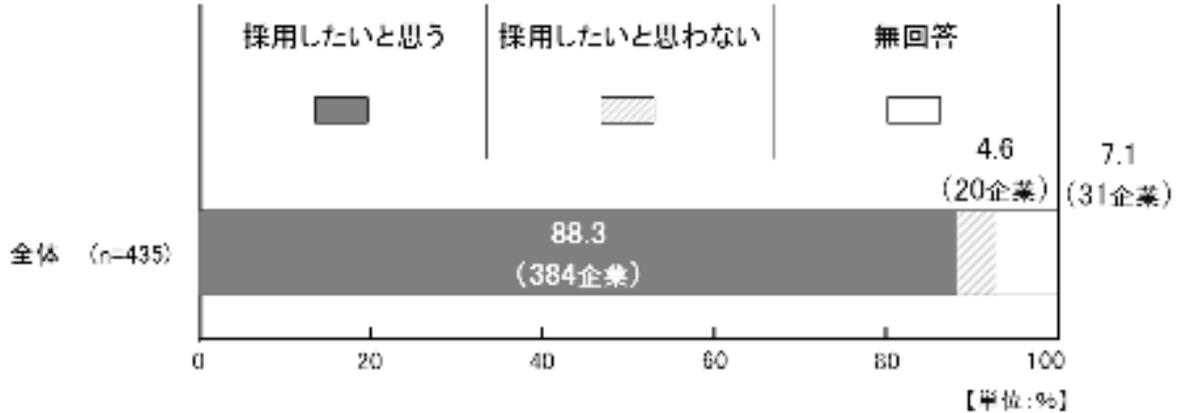
採用想定人数を示した企業数	118
採用想定人数の合計値	202

商学部 経営学科卒業生の採用意向／毎年の採用想定人数

■商学部 経営学科卒業生に対する採用意向

Q9. 貴社・貴団体では、西南学院大学の以下の学科・専攻を卒業した学生について、採用したいと思われますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。



「採用したいと思う」と答えた384企業のみ抽出

■商学部 経営学科卒業生の毎年の採用想定人数

Q10. Q9でいずれかの学科・専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
「1. 採用したいと思う」と回答された学科・専攻を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名～9名	10名以上	人数は未確定	計※ 毎年の採用想定人数・
		全体	384	%	19.3	7.0	3.4		
		名	74	27	13	0	6	2	257

⇒ 474

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名 を代入し合計値を算出



【参考】
※「人数は未確定」と答えた企業を除いた場合

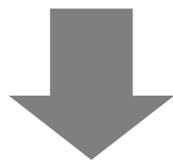
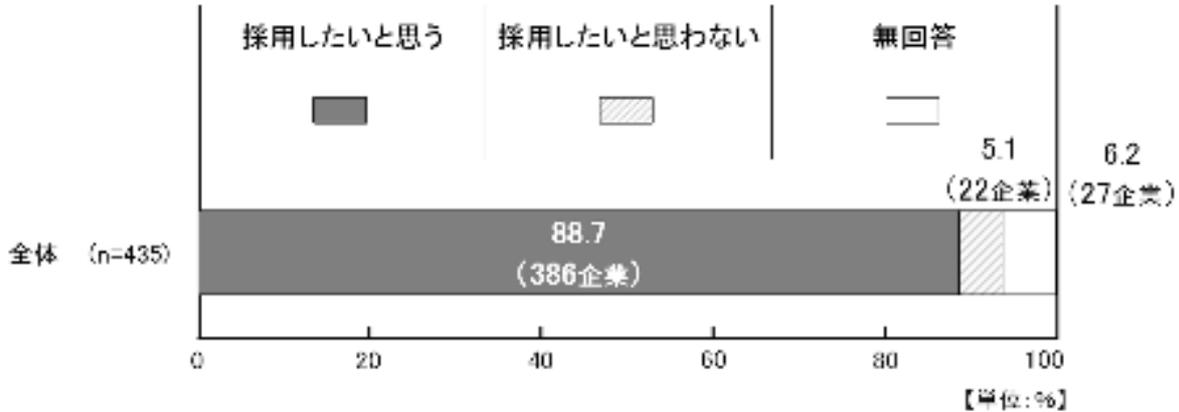
採用想定人数を示した企業数	122
採用想定人数の合計値	217

経済学部 経済学科卒業生の採用意向／ 毎年の採用想定人数

■経済学部 経済学科卒業生に対する採用意向

Q9. 貴社・貴団体では、西南学院大学の以下の学科・専攻を卒業した学生について、採用したいと思われますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。



「採用したいと思う」と答えた386企業のみ抽出

■経済学部 経済学科卒業生の毎年の採用想定人数

Q10. Q9でいずれかの学科・専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

「1. 採用したいと思う」と回答された学科・専攻を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名～9名	10名以上	人数は未確定	計※ 毎年の採用想定人数・
		全体	386	% 18.7	7.0	3.1	0.0		
		名 72	27	12	0	6	2	260	

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名 を代入し合計値を算出



【参考】

※「人数は未確定」と答えた企業を除いた場合

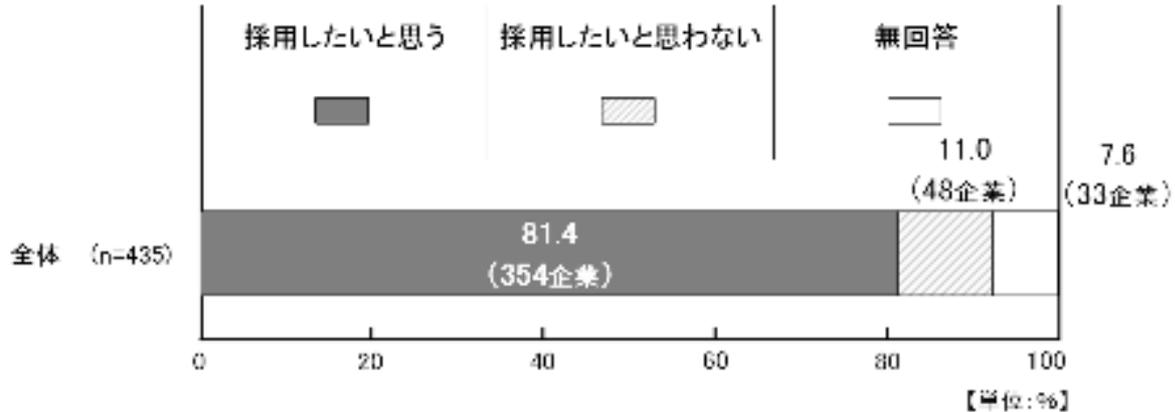
採用想定人数を示した企業数	119
採用想定人数の合計値	212

経済学部 国際経済学科卒業生の採用意向／ 毎年の採用想定人数

■経済学部 国際経済学科卒業生に対する採用意向

Q9. 貴社・貴団体では、西南学院大学の以下の学科・専攻を卒業した学生について、採用したいと思われますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。



「採用したいと思う」と答えた354企業のみ抽出

■経済学部 国際経済学科卒業生の毎年の採用想定人数

Q10. Q9でいずれかの学科・専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

「1. 採用したいと思う」と回答された学科・専攻を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	人数は未確定	計※ 毎年の採用想定人数・
		全体	354	% 18.1	5.1	3.4	0.3		
		名 64	18	12	1	5	1	245	

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名 を代入し合計値を算出



【参考】

※「人数は未確定」と答えた企業を除いた場合

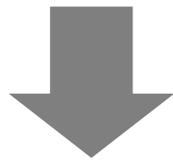
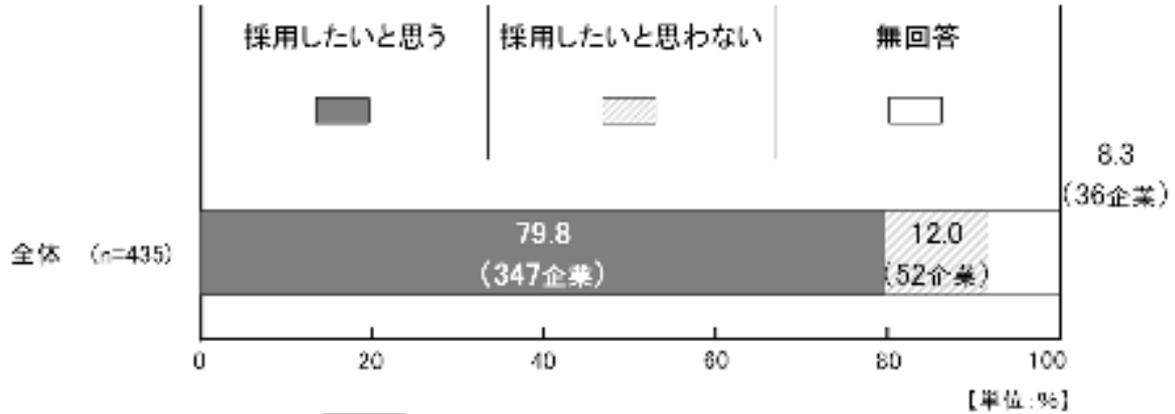
採用想定人数を示した企業数	101
採用想定人数の合計値	175

法学部 法律学科卒業生の採用意向／毎年の採用想定人数

■法学部 法律学科卒業生に対する採用意向

Q9. 貴社・貴団体では、西南学院大学の以下の学科・専攻を卒業した学生について、採用したいと思われますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。



「採用したいと思う」と答えた347企業のみ抽出

■法学部 法律学科卒業生の毎年の採用想定人数

Q10. Q9でいずれかの学科・専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
「1. 採用したいと思う」と回答された学科・専攻を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	人数は未確定	計※ 毎年の採用 想定人数・
		全体	347	% 21.9	4.0	1.7	0.0		
		名 76	14	6	0	3	0	242	

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名 を代入し合計値を算出



【参考】

※「人数は未確定」と答えた企業を除いた場合

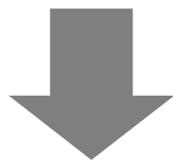
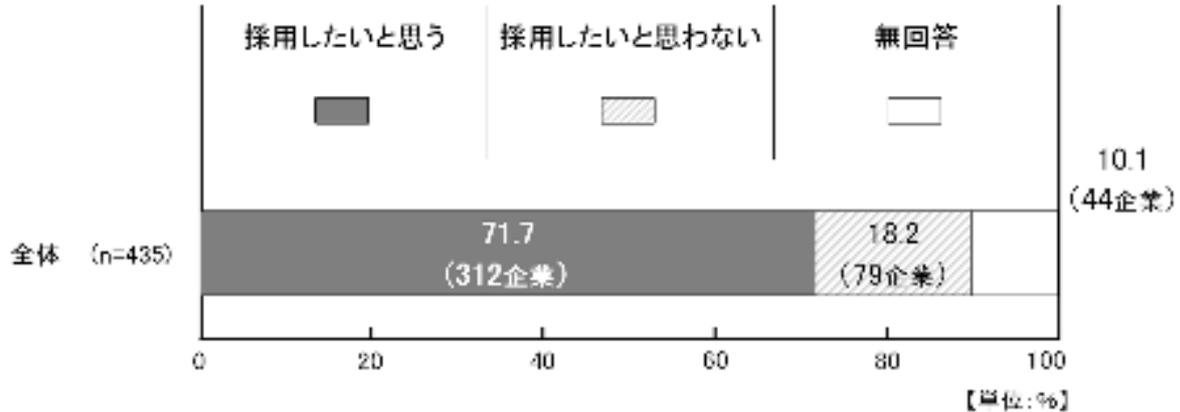
採用想定人数を示した企業数	99
採用想定人数の合計値	137

法学部 国際関係法学科卒業生の採用意向／ 毎年の採用想定人数

■法学部 国際関係法学科卒業生に対する採用意向

Q9. 貴社・貴団体では、西南学院大学の以下の学科・専攻を卒業した学生について、採用したいと思われますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。



「採用したいと思う」と答えた312企業のみ抽出

■法学部 国際関係法学科卒業生の毎年の採用想定人数

Q10. Q9でいずれかの学科・専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

「1. 採用したいと思う」と回答された学科・専攻を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	人数は未確定	計※ 毎年の採用想定人数・
		全体	312	17.9	3.5	1.9	0.0	1.0	
	名	56	11	6	0	3	0	231	

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名 を代入し合計値を算出



【参考】

※「人数は未確定」と答えた企業を除いた場合

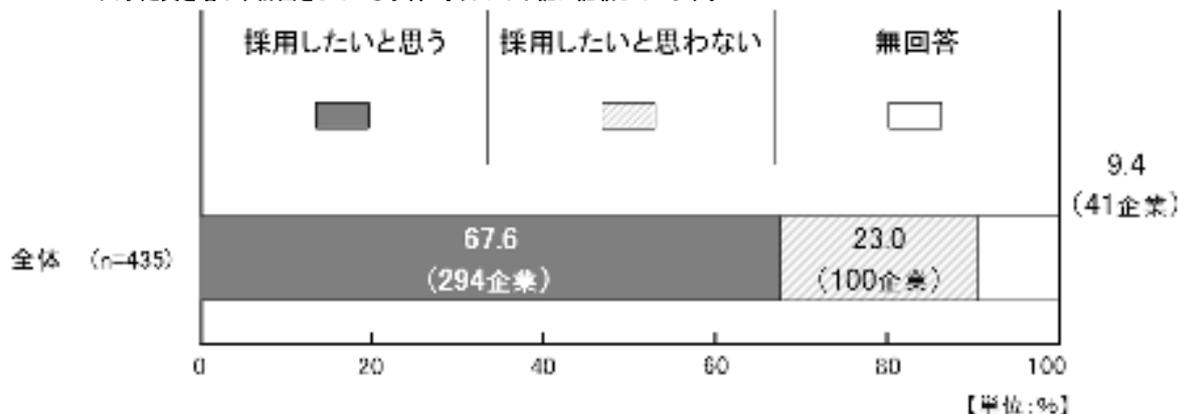
採用想定人数を示した企業数	76
採用想定人数の合計値	111

人間科学部 心理学科卒業生の採用意向／ 毎年の採用想定人数

■人間科学部 心理学科卒業生に対する採用意向

Q9. 貴社・貴団体では、西南学院大学の以下の学科・専攻を卒業した学生について、採用したいと思われますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。



「採用したいと思う」と答えた294企業のみ抽出

■人間科学部 心理学科卒業生の毎年の採用想定人数

Q10. Q9でいずれかの学科・専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

「1. 採用したいと思う」と回答された学科・専攻を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	人数は未確定	計※ 毎年の採用想定人数・
		全体	294	18.4 54	2.0 6	2.0 6	0.0 0		

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名 を代入し合計値を算出



【参考】

※「人数は未確定」と答えた企業を除いた場合

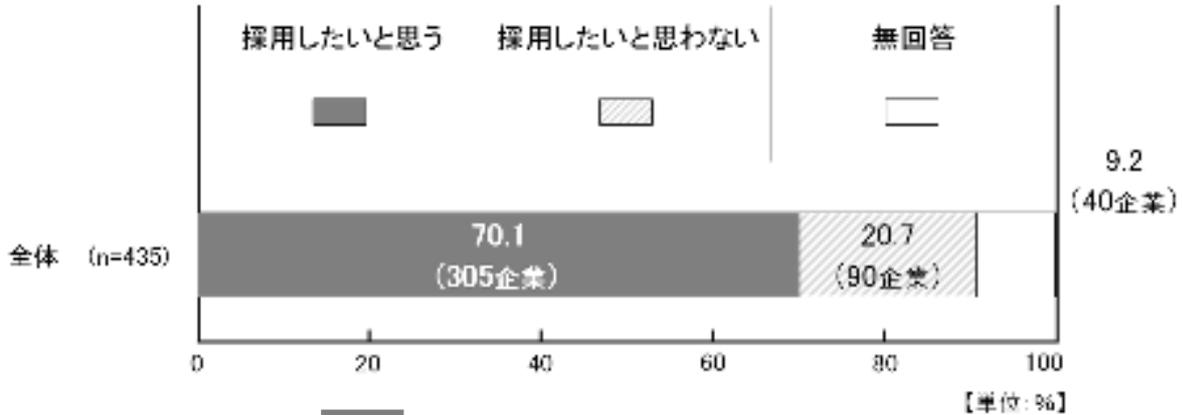
採用想定人数を示した企業数	69
採用想定人数の合計値	99

国際文化学部 国際文化学科卒業生の採用意向／ 毎年の採用想定人数

■国際文化学部 国際文化学科卒業生に対する採用意向

Q9. 貴社・貴団体では、西南学院大学の以下の学科・専攻を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。



「採用したいと思う」と答えた305企業のみ抽出

■国際文化学部 国際文化学科卒業生の毎年の採用想定人数

Q10. Q9でいずれかの学科・専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

「1. 採用したいと思う」と回答された学科・専攻を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名以上	人数は未確定	計※ 毎年の採用想定人数・
		全体	305	16.4	2.6	2.6	0.0		
	名	50	8	8	0	3	0	228	

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名 を代入し合計値を算出



【参考】

※「人数は未確定」と答えた企業を除いた場合

採用想定人数を示した企業数	69
採用想定人数の合計値	105

卷末資料 調查票



企業対象 調査票

『西南学院大学』に関するアンケート

西南学院大学では、2017年(平成29年)4月より、既存の7学部13学科2専攻のうち、「6学部10学科2専攻」の入学定員を増やすことを計画しています。
このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部・学科にするための参考資料とさせていただくものです。
このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

本社(本部)所在地

都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|------------------|--------------|------------|
| 1. 卸売・小売業 | 7. 教育・学習支援業 | 13. 広告業 |
| 2. 金融・保険業 | 8. 運輸業 | 14. 製造業 |
| 3. 不動産業 | 9. サービス業 | 15. 医療・福祉 |
| 4. 飲食店・宿泊業 | 10. 複合サービス事業 | 16. 公務 |
| 5. 情報通信業 | 11. 農・林・漁・鉱業 | 17. その他() |
| 6. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 12. 建設業 | |

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 50名未満 | 3. 100名～500名未満 | 5. 1,000名～5,000名未満 |
| 2. 50名～100名未満 | 4. 500名～1,000名未満 | 6. 5,000名以上 |

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。

過去3か年 平均

名程度

Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|----------|--------|------------|
| 1. 増やす | 3. 減らす | 5. 採用予定なし |
| 2. 昨年度並み | 4. 未定 | 6. 見送り(中止) |

次のページへ続く→

企業対象 調査票

Q7. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|----------|---------------------|---------------------|
| 1. 文学系統 | 7. 商学系統 | 13. 生活科学系統 |
| 2. 心理学系統 | 8. 国際関係学系統 | 14. 芸術学系統 |
| 3. 語学系統 | 9. 教員養成・教育学系統(保育含む) | 15. 医・歯・薬・看護・保健学系統 |
| 4. 法学系統 | 10. 総合科学系統 | 16. 理・工・農・水産学系統 |
| 5. 経済学系統 | 11. 社会学系統 | 17. その他() |
| 6. 経営学系統 | 12. 社会福祉学系統 | 18. 学部や学問系統にはこだわらない |

西南学院大学では、2017年(平成29年)4月より、既存の7学部13学科2専攻のうち、「6学部10学科2専攻」の入学定員を増やすことを計画しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料をご覧いただいた上でお答えください ※

Q8. 西南学院大学の以下の学科・専攻には、次のような特色があります。

それぞれの特色をもつ学科・専攻は、これからの社会にとって必要だと思われますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。

		とても必要だ と思う	ある程度 必要だ と思う	あまり 必要と 思わない	まったく 必要と 思わない
	例. ○○である。	→ 1	2	3	4
文学部	【英文学科】 A. 英語の4つの技能—話す、聞く、読む、書く—全般の能力を強化し、同時に英語圏の文学・文化・思想を学ぶことで、グローバル化時代に活躍できる能力が身に付きます。	→ 1	2	3	4
	【外国語学科 英語専攻】 B. 「少人数クラスにおけるディスカッション」、「授業時間外での学生と教員のコミュニケーション」を重視したカリキュラムにより、実践的英語力が身に付き、国際社会で活躍することができます。	→ 1	2	3	4
	【外国語学科 フランス語専攻】 C. 国連やEUの公用語であるフランス語の習得に加え、フランス文化・社会を多面的に学ぶことにより、英語とは異なる新しいことばで世界をみる楽しさを体験し、国際社会で活用することができます。	→ 1	2	3	4
商学部	【商学科】 D. ビジネスにおいて重要な「物流」「金融」「会計」を専門的に学ぶほか、問題解決力や他者との議論の仕方など人間性・社会性も身に付き、社会で活躍することができます。	→ 1	2	3	4
	【経営学科】 E. インターネットの活用法から高度な経営分析まで、経営における情報の捉え方や扱い方を多面的な観点から学ぶことができます。また、ビジネス社会に役立つ情報処理能力も養うことができます。	→ 1	2	3	4
経済学部	【経済学科】 F. データの分析方法を基礎に置き、経済の基礎的理論から歴史や政策まで幅広く学修することで、複雑に入り組んだ経済社会の中で自分なりの対処法や見解を打ち出す力が身に付きます。	→ 1	2	3	4
	【国際経済学科】 G. 各国・地域の経済事情や経済の仕組みを学ぶと同時に、諸外国との交流に役立つ語学力を身に付けることで、グローバル経済に貢献できる力が身に付きます。	→ 1	2	3	4

企業対象 調査票

			とても必要だと思う	ある程度必要だと思う	あまり必要と思わない	まったく必要と思わない
法学部	H. 【法律学科】 法律の知識と、多くの人が納得する解決策を導き出すための論理的思考を学ぶことで、幅広い進路に対応できる力が身に付きます。	→	1	2	3	4
	I. 【国際関係法学科】 全国トップクラスの国際法関連の科目数により、国際社会で必要とされる知識と感性、広い視野を身に付け、国際的に活躍することができます。	→	1	2	3	4
人間科学部	J. 【心理学科】 カウンセリングを行う「臨床」領域と、個人行動などを調査・分析する「実験」の両方を学修することで、社会の幅広いニーズに対応できる力を身に付けることができます。	→	1	2	3	4
国際学部文化	K. 【国際文化学科】 異文化理解に必要な知識と2ヶ国語を学ぶことで、グローバルな視野、およびローカルな視点が身に付き、国際社会や地域に貢献することができます。	→	1	2	3	4

Q9. 貴社・貴団体では、西南学院大学の以下の学科・専攻を卒業した学生について、採用したいと思われますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。

			1. 採用したいと思う	2. 採用したいと思わない
文学部	英文学科	→	1	2
	外国語学科 《英語専攻》	→	1	2
	外国語学科 《フランス語専攻》	→	1	2
商学部	商学科	→	1	2
	経営学科	→	1	2
経済学部	経済学科	→	1	2
	国際経済学科	→	1	2
法学部	法律学科	→	1	2
	国際関係法学科	→	1	2
人間科学部	心理学科	→	1	2
国際学部文化	国際文化学科	→	1	2

次のページへ続く→

企業対象 調査票

Q10. Q9でいずれかの学科・専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

「1. 採用したいと思う」と回答された学科・専攻を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。

現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

*入学定員を増やす計画をしている学科・専攻のみ下記に記載しています。

			1名	2名	3名	4名	5名 ～9名	10名 以上	人数は 未確定
文学部	英文学科	→	1	2	3	4	5	6	7
	外国語学科 《英語専攻》	→	1	2	3	4	5	6	7
	外国語学科 《フランス語専攻》	→	1	2	3	4	5	6	7
商学部	商学科	→	1	2	3	4	5	6	7
	経営学科	→	1	2	3	4	5	6	7
経済学部	経済学科	→	1	2	3	4	5	6	7
	国際経済学科	→	1	2	3	4	5	6	7
法学部	法律学科	→	1	2	3	4	5	6	7
	国際関係法学科	→	1	2	3	4	5	6	7
人間学部	心理学科	→	1	2	3	4	5	6	7
国際文化学部	国際文化学科	→	1	2	3	4	5	6	7

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～